京城日報
二十一日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○琿春事件再抗議

在外交總長は十九日午後再び秘書世屈水氏を我が公使館に派し吉林督軍の新報告に基き琿春の日本兵未だ撤退せず民心動揺す既に今回の處置不當の爲め大問題を惹起せる琿春縣知事の責任を問ひ停職を命じて召喚せり先づ日本兵の撤退を俟つて圓滿なる解決を計りたしと交渉せり林公使は之に對して目下報告を待ちつゝありと答へ此の際根本的に朝鮮人に對する司法權問題を解決する必要ありとの意見を述べたり(北京電報)

○露政府一時小康

コルニロフ將軍の暴兵失敗後は一面勞兵會の勢力增大し共和結果勞兵會を説服する必要上ケレンスキー氏は共和宣言の發表を早めたるものにして之が爲め露政府は一時小康を贏ち得たり(露都電報)

○ア將軍の陸軍改造

アレキシェーフ將軍は既に陸軍部内の改造に著手し叛軍の將校を罷免せり(露都電報)

○ペンザ市に戒嚴令

ペンザ市に戒嚴令を布けり(莫斯科電報)

○ア將軍の自殺説

華盛頓來電=米國駐剳露國大使館は十八日アレキシーフ大將が戰線に於て自殺せりとの電報に接せる旨發表したり

○共和宣言と親獨派

露都來電に依れば親獨派はケレンスキー氏が獨裁政治を計畫し居れりと稱し盛んに人民を煽動し居たりしも今回共和制宣言の結果渠等は其の唯一の口實を奪はれたり(桑港電報)

▲右の電報に就き東京露國大使館へは未だ何等の著電なし(東京特電)

○コルニロフ將軍辯明

過日來露國首相ケレンスキー氏と意志の疎隔を來し兵力を以て政權讓渡しを强要せりと傳へられたるコルニロフ將軍は今回左記の宣言を公表し全國民に訴ふる處ありたり

▲予の襄に提議せる露國軍總司令官の就任條件が尚採用せられずして戰況急迫を告ぐるや一方露都に在る過激社會黨は九月十一日を期し再び兵力に訴へて政權を强奪し其機に乘じて休戰を宣言し以て

▲單獨講和の端緒を策するの確報に接せり予は是等の賣國的徒輩を一掃殲滅し總司令官たる予の加はりたる新政府を樹立する必要を認め露都に對しては騎兵第三個師團を送るの準備をなせり此時に當り首相ケレンスキー氏の使者予に告ぐるに現下の擾亂に際し政府に武力なく就任條件の採用は激烈なる反對と紛擾とを惹起すべきを以て兵力の援助を要求せり而して尚ほ此際彼れが首相として

▲留任するの可否を問ひ又勸むるに予の獨裁執政官たるを以てせり茲に於て予は獨裁官設定は露國の國步艱難なる刻下の狀態を救ひ住民の安全を保持する唯一の途なる可きことを回答し且つ獨裁官としてはケレンスキー氏の就任の可なるを説きサビンコーを參加せしむべきを進言せり蓋し此の制度に據るも革命前の政體に逆轉するの虞なきを自任すればなりケレンスキー氏は八日更に予の決定を確め翌九日モギレフに移るべきを約したるに拘はらず當日に至つて

▲突然前言を喰みて予に不法なる退職を求めたり而して襲に提議せるとを全然否認せり今や我が國家は死に瀕し更に是れ以上の躊躇を許さず予の決定に基づく命令は既に下されて實行に移り撤回せんとするも最早及ばず茲に於て予は全責任を帶び現職に止まりて

▲國家を救助擁護するに決心せり但し尚政府に勸告するにモギレフに來り意志の疏通を圖り意見の交換を爲し予と共に相提携して確固不拔の政府を組織す可きを懇通しつゝあり[illegible]

○臨時教育會議官制

政府は事局に鑑み臨時教育會議を新設することゝなり二十一日官報を以て左の官制を發布したり(東京特電)

▲臨時教育會議官制

第一條 臨時教育會議は内閣總理大臣の監督に屬し教育に關する重要事項を調査審議す

第二條 臨時教育會議は内閣總理大臣の諮詢に應じて意見を開申す

第三條 臨時教育會議は内閣總理大臣に建議する事を得

第四條 臨時教育會議は總裁一人副總裁一人及び委員四十人以内を以て之を組織す

第五條 總裁は内閣總理大臣の奏請に依り之を勅命す

第六條 總裁は會務を統理し會議の議決を内閣總理大臣に具申す(以下略す)

▲正副總裁任命

二十一日左の通り任命ありたり(東京特電)

正二位勳一等子爵 平田東助
臨時教育會議總裁被仰付

從三位勳一等男爵 久保田讓
臨時教育會議副總裁被仰付

□教育會議詔勅

臨時教育會議の新設に關し左の詔勅下れり(東京特電)

朕中外ノ狀勢ニ照シ國家ノ將來ニ稽ヘ内閣ニ委員會ヲ置キ教育ニ關スル制度ヲ審議シ其進行ヲ計ラシムルノ必要ヲ認メ臨時教育會議官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正六年九月二十日

◎山縣總監東京發

山縣政務總監は二十一日午前八時三十分東京驛發歸任の途に就きたるが途中山口縣小郡に立寄る筈也(東京特電)

○大阪市會池上氏推薦

次期の市長候補

大阪市會は廿日開會し現市長池上氏を次期市長第一候補に推薦する事に決定せり(大阪特電)

臨時教育會議總裁仰付られたる

平田東助子

◎國澤理事長動靜

滿鐵理事長國澤新兵衛氏は二十日朝關釜連絡船高麗丸より上陸鐵道ホテルに休憩し午前中は埠頭及び港内を巡視し午後東萊温泉に赴き入浴の上同五時釜山に引返し午後七時より鳴戸本店に於て開催の滿鮮鐵道合併披露宴に臨み同夜鐵道ホテルに一泊二十一日午前十時三十分發急行列車にて京城に向け出發せり(釜山特電)

◎清、望月兩代議士

代議士清崟太郎氏は二十一日朝内地より釜山著午前十時三十分發列車にて京城へ向ふ▲代議士望月小太郎氏は二十一日朝釜山著午前十時三十分發列車にて京城經由元山に向へり(釜山特電)

◎政務總監出發

東上中なりし山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ二十一日午前八時三十分東京驛發列車にて歸任の途に就ける旨其の筋に電報あり多分廿三日午後九時南大門驛著列車にて歸京す可し

◎戰時禁輸擴大

朝鮮總督府令百三十八號戰時中物品の輸出取締に關する件中改正の件は二十二日の官報を以て公布せられ即日より施行の事となれり右は第一條中『工業原料』とあるを『物品』に改め且つ戰時中輸出品として朝鮮總督の許可を要する品名を左の通り追加せるものなり

製紙用パルプ、ザラ紙を除きたる印刷料紙、硫酸アンモニア、過燐酸石灰及び硫酸アンモニア、過燐酸石灰若くは硝酸曹達を原料の一とする調合肥料

◎定例長官會議

二十一日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集重要政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎船舶管理令と朝鮮

當然朝鮮にも實施を見るべし=其の影響は大ならず

船舶管理令は本紙東京電報の如く豫て噂されし内容にて

▲十月一日より實施せらるべしとの事なるが右に付公式には何等内閣若くば遞信省より未だ總督府へ通牒に接せざるも當局に交渉し來らざる模樣なるも該令が内地のみに實施され殖民地に其の効力を及ぼさずとすれば管理令の管理を避くるため内地在籍船は相率ゐて朝鮮若くば關東州等に轉籍し來るべき事は想像するに難からず果して然らば船舶管理令の效力は極めて薄弱のものとなるに付該令の末尾に

▲朝鮮總督府は之れを管理する意味の條文附せらるれば問題なきも若し其の添附を見ざる時は直ちに總督府令を以て船舶管理令の發布を見るに至るべしと觀測す又該令實施の暁き差し向き朝鮮在籍船にして當局の許可を受くる航路並に船舶幾千ありやと云ふに朝鮮郵船會社の仁川青島航路並に元山浦鹽航路の如きあり更に朝鮮に在籍し專ら外國航路に從ひ居る船舶六隻を數へ之等は當局の許可を要すべく又今後大等の輸貨等も當局の許可を經ざる可らざるべし唯何分朝鮮在籍船は隻數少なく朝郵所有船の如きは船腹の不足離はあれど之れを外國にチャーターする如き餘力は到底存せざると朝郵の

▲元山浦鹽航路は命令航路にて何等其の繼續航行は問題とならざるべく仁川、青島航路は自由航路なれど朝鮮と北支那の連絡上最も必要の航路に付其の繼航は素より面倒の筋合にあらざるべし唯外國にチャーターしある大型船の六隻はいかなる管理令の適用を受くるか疑問なれど要するに其の實施により朝鮮海運界の受くる影響は大ならざるべし又管理令の朝鮮全般に及ぼす影響は如何と云に其運用の程度不明に付今日窮りに臆測を許さゞるも若し該令が現行の

▲船舶運賃に幾千か制限を加へ其の引下げを餘儀なくせしむるか若くば其の引上げを行ふ餘地を少なからしむるかなすものとせば鮮內物價の調節に幾千か効力あるべしと觀測する人あり

◎紅蔘製造開始

專賣課開城出張所にては所管內の蔘圃に對し豫定の如く十七日より收納を開始せるが紅蔘製造は未だ著手の運びを見ざるも不日開始さる可く本年の製造額は約三萬斤にして蔘圃及び需給の關係上前年に比すれば約一萬斤の減少なり

◎津野大佐動靜

二十日夜入京せる津野大佐は二十一日午前九時總督府に長谷川總督及び武官を訪問し入京の挨拶を爲し夫れより軍、師團、憲兵隊司令部等を訪へり氏は二十二日午後七時五十分南大門驛發汽車にて歸東の途に就く筈なり

◎臨澤部長巡閲

京畿道警務部長臨澤憲兵大佐は小牟田警視及び下士警部等を隨伴來る二十六日より管内永登浦、水原、振威、安城の各警察署を巡閲し其れより忠南公州、鳥致院等を視察して十月二日頃歸任の豫定なりと

◎城覆審院長歸期

京城覆審法院管內公州地方法院及び江景支廳、清州等の各支廳事務巡閲の爲め出張中なる城覆審法院長は二十二日午後歸任すべき豫定なりと

◎勅使河原院長歸期

管內抱川、鐵原等の各支廳事務檢閲の爲め出張中なりし勅使河原京城地方法院長は二十一日午後歸任すべし

◎古谷代議士動靜

入京中なる古谷久綱氏は二十一日午前九時總督府に長谷川總督を訪問入京の挨拶を爲し十一時より昌德宮に兩宮に伺候せる後再び總督府に赴き各部長官局長等を訪ふて總督政治の現況並に將來の施設を聽取し午後七時朝鮮ホテルに於ける鈴木、國分、荻田諸氏發企の歡迎宴に臨めり二十二日は工業專門學校、東亞煙草會社、土地調査局、高等普通學校等を視察し二十二日朝南大門驛發汽車にて平壤に向ふ筈なり尚ほ氏は鎭南浦、兼二浦、廣梁灣等を見新義州經由滿洲支那に赴く由

◎國澤理事長著期

滿鐵理事長國澤新兵衛博士は二十一日朝入京の豫定なりしも都合により二十一日午後九時南大門驛著入京の事となりしが出發は二十二日午後九時四十分若くば二十三日朝となるべく京元線の巡視は今回も延期すべしと

◎辭令

十九日附を以て左の通辭令ありたり

被仰付朝鮮關稅訴願審查委員會幹事 總督府事務官 矢鍋永三郎

被免朝鮮關稅訴願審查委員會幹事 總督府事務官 有賀光豐

◎國分次官出張

國分李王職次官は權藤事務官を隨へ二十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて李王職所管水原牧場及び同地花山森林視察の爲め出張せるが滯在十日間の豫定なり

○佛國新內閣の宣言

議會は當分傍觀態度を

佛國議會は十八日再會せられたるが新內閣は議會に向つて戰爭の目的を(一)アルサス、ローレンの併合(二)正當なる損害賠償(三)正義の上に基礎を有する平和を有力に防衛するに足る保障に在りとし、且つ一日と雖も戰爭を濫りに早く終了せしめんとするは是れ佛國を騙りて卑屈なる奴隸の境遇に陷りし所以なりと云へり、是れに對し議會は徐ろに政府の遣口を見て其の實際の施設に就き信不信を決すべしと宣言せり(巴里電報)

○石炭騰貴と瓦斯經營難

各地の瓦斯會社は石炭騰貴其他にて經營困難となり全國各所に亙り解散の傾向あり現に山陰、山陽、四國方面に於て解散せんとするもの若くは解散せしもの多し(大阪特電)

○米企業家活躍

在奉天の米國人は奉天省朝陽鎭山の採掘を企て又た黃旗溝銅山の採掘にも手を附けんとし其の活動振りは最も注目に値すと(奉天特電)

◎朝鮮紡織進捗

野田、和田兩氏來鮮せむ

朝鮮紡織會社工場の敷地は嚢に田淵氏等來鮮の上仁川木浦釜山大邱各地を比較調査し歸東したるが其の最後の決定は十月十五日東京に開會する第一回株主總會席上に報告すべきが右に先立つて發起人たる野田卯太郎和田豐治氏等の來鮮を見るべく尚ほ過般發起人より特に共引受株中二千株を割き朝鮮資本家の應募に委せし分は夙に滿株となりしが當時右二千株を殘株と報せしは誤りにて右は殘株にあらず特に朝鮮資本家のために發起人持株を割きたる者也

◎製紙株分配

三井物產支店取扱ひ

資本金五百萬圓を以て新義州に設立すべき朝鮮製紙會社は此程總督府の許可を經たるが該會社の株式は全部發起人及び贊成人にて之れを引受け一般に公募せざる事となり居れど折角朝鮮に企業したる製紙計畫に全く朝鮮の資本家を交へざる事は發起人側にても遺憾となし居る由にて最近少數ながら一部の株式を割きて朝鮮資本家に提供する事となり三井物產京城支店にて申込を受理する由尚ほ提供株は多からず從つて一口莫大の申込みは到底應せられざるべしと

◎京畿指定面書記數

來る十月一日より施行せらるべき面制に依り京畿道管內に於て總督の指定面となりたる永登浦面は從回面書記數を五人と變更せられ從來永登浦に所屬せし北面は分割後面書記六人と決定せられたりと

○莫大小業操短

綿絲暴落の爲め莫大小界恐慌起り操業短縮問題起れり(大阪特電)

○銀塊五十三片

倫敦來電=銀塊相場は五十三片半となれり(大阪特電)

◎黃海丸船長審判

五月江原道沖にて座礁沈沒せし朝郵汽船黃海丸船長大井李治氏に對する總督府の海事審判は廿一日缺席の儘判廷せり

◎市川少將張宴

朝鮮駐劄軍參謀長市川少將は二十日午後七時より前田岡本兩大佐竹內中佐以下軍師團憲兵隊の將校數氏並に在京城新聞通信代表者等を朝鮮ホテルに招待披露の意味にて張宴せしが席上市川少將の挨拶阿部京日社長の謝辭あり主客歡を盡し九時過ぎ散會せり

◎古谷氏歡迎會

國分李王職次官、鈴木度支部長官、荻田總務局長等發起となり二十一日午後七時より入京中なる古谷代議士を朝鮮ホテルに招待歡迎會を開く

◎德富氏午餐會

本社監督德富猪一郎氏は廿一日在京記者團の主なる人々を朝鮮ホテルに招待し午餐會を催したり

人事消息

▲橫井三郎氏(慶南二部長) 二十日午後入京滿尾

▲大塚虎三氏(日本理化工業株式會社重役) 二十日午後入京滿尾

▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 訴訟用にて大邱へ出張中の處二十一日朝歸京

▲淸崟太郎氏(代議士) 二十一日夜入京天眞樓へ投宿の筈

▲中野有光氏(保安課長) 二十一日午前歸任

▲白川水城氏(辯護士) 二十一日入京

▲大橋平壤商業會議所會頭同川上書記長 二十二日出發金剛山の豫定

▲高義敬子(李王世子附事務官) 二十一日朝南大門驛發列車にて東上

彼れ此れ

○北京政府は、孫逸仙君に對し、內亂罪として、拘引狀を發せりと。○ケレンスキー首相が、コルニロフ將軍等を、叛逆罪に問はんとするに相似たり。唯一變の差は、一は革命を打破せんとし、一は革命を擁護せんとするにあるのみ。孫君果して、コ將軍の如く、直に拘引せらるゝや否やが、問題也。

○コルニロフ將軍の後を襲いで、露國總司令官となりし、アレキシーフ將軍の自殺を傳ふ。ア將軍、コ將軍を縛し、其の降伏の衝に當りしの人也。而して立憲民主黨側より、內閣を率ゐせしめんとの、噂を傳へしの人也。其の自殺の報の突如たる、遽に判斷を下す能はざるも、其間の消息、聊か推知するに足るものあり。

○露軍に從ひ、義勇兵として、戰線にある日本人、二百餘名に達し、何れも成績頗る良く、其大部分は、少尉補に昇進し居れりと、而して悉くが、我九州人たる事に於て、西國男子、大に氣を揚ぐるに足る。

開けて行く間島（一）
醫務及び衛生狀況を視察して
殷盛なる龍井村＝展開せる平野＝間島病院＝朝鮮人の救療＝支那の施療病院

總督府醫院長　芳賀榮次郎氏談

北朝鮮及び間島方面に於ける醫務衛生狀況視察の務を終り十九日夜歸任したる總督府醫院長芳賀博士の談に曰く

清津、鏡城、羅南、會寧等に於ける總督府慈惠醫院醫務及び一般醫療、衛生狀態の視察を爲し會寧より渡船にて豆滿江を渡り十三里の路程を馬背に托し東間島に於ける內鮮人市街として最も殷盛なる龍井村に入つた

◆豆滿江を　渡つて第一番に感じた事は其の地質が朝鮮側と全く異つて居る事である、朝鮮側の山嶽は何れも山骨露出し耕地の土質の如きも砂質にして全く痩瘠磽确の地であるが一度豆滿江を越へて足一歩間島に入れば目に入る山嶽皆な形丸く岩石の表面に露出するが如き事なく山と山との間に

◆展開せる　平野は有機質を多く含有する黑色の沖積土である故に稻、粟、大豆等が穰々と稔つて居る聞く處に由れば間島に於ける農作物は全く施肥を要しない程に土地が膏沃であると云ふ東間島は延吉、和龍兩縣及び汪清縣の大半を含み豆滿江の支流海蘭、哈爾巴通、嘎呀の三河沃野の間を貫流し山地を除くの他は至る處

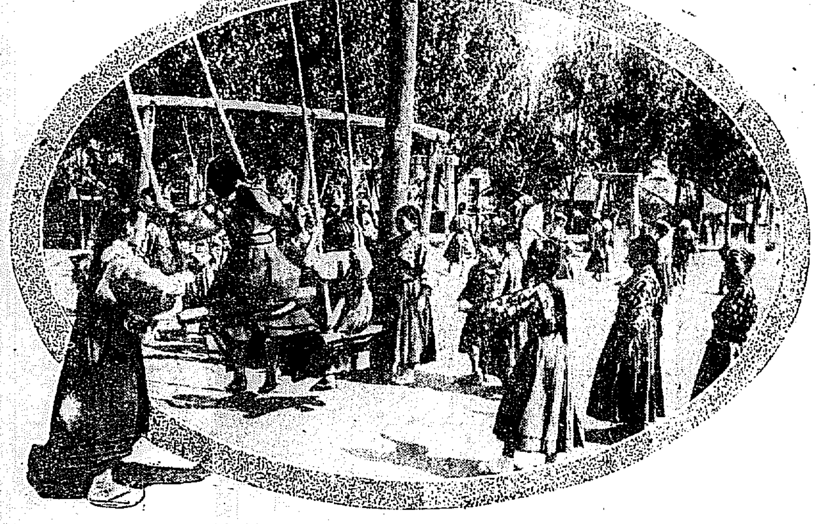
◆灌漑の利　あり朝鮮人の手に由り龍井村以南の地は何れも水田となつて居る、龍井村は海蘭河の流域に在り朝鮮人二千人支那人千人內地人五百人居住し全然朝鮮人を本位とした市街である日本の領事館は龍井村に間島總領事館あり太拉子頭道溝、局子街、百草溝に各分館を設けてある

◆局子街に　は外務省及び朝鮮總督府の補助して居る間島病院が在る同島病院は一昨年設立し昨年煉瓦二階建に新築し外觀の堂々たるのみならず內部の設備も亦大いに整備した立派な病院である院長の野川醫學士は東京帝國大學出身の人で曾て軍醫として奉職した事もあり內科外科共に

◆練熟した　人である我が間島病院は主として朝鮮人の救療を目的として施術、投藥凡て無料とし併せて支那人の患者に對しても施療を爲して居る近來朝鮮人の間に相當資產ある者は施療にては入院又は投藥を請ふに

◆無料にて　は度々治療を依頼爲し難しと言ふ者往々あるを以て施療を希望せざる者に對しては今後入院料其他の實費を徵收する事となつた我が間島病院が朝鮮人其他の救療に當り好成績を收めつゝあるを見て其の對抗としても

◆支那政府　も又局子街病院の分院を龍井村に置き朝鮮人の施療乃至實費診療に從事して居る院長は北京の醫學校出身の人である入院の設備などは勿論ない此の外に加奈太の基督敎病院が在る院長は米人のドクトルである近來藥劑及び機械等が一向に米國から來ないと言つて居た之の病院は一人の診察及び藥價を五錢と定めてある



出兵論から
奉天方面＝支那人の自尊心昂まる＝日本人を蔑視す
昨今奉天方面の支那人間に排日の氣風起れり其の原因は對獨宣戰の決行以來支那人間に兎角鼻息荒くなり殊に近時歐洲出兵論の盛んなる折柄日本が歐洲に出兵せざるを以て之を冷笑し此の際自國に出兵の論議盛々たるは畢竟するに支那人が日本人より强き證據なりと觀念せる傾向あり爲めに近來兎角自尊心を昂め日本人を蔑視する傾向を生じ來れり（奉天特電）

●朝鮮僧侶團　天王寺參詣
朝鮮僧侶金九河師一行は二十一日朝奈良法隆寺に到り夫れより大阪に來り天王寺に參詣して燒香をなしたり（大阪特電）

●高野山に記念塔　田邊博士美擧
京都工科大學長工學博士田邊朔郎氏は私財を投じて高野山上に勞役殉難者の記念塔を建設す可く目下設計測中なり（大阪特電）

●汽船坐洲　全南珍島沖にて
對馬運輸株式會社所屬汽船天眞丸（五百五十七噸）は十九日全南珍島沖二海里の海上を航行中誤つて坐洲し生牛若干及び其の他の貨物及び船體に異狀なき旨同會社に急報ありしが會社にては所有船對馬丸を現場に急派して引卸しに著手中なる旨全南警務部長より二十一日警務總監部に入電ありたり

●病院長診斷書を僞造す
大阪市北區西堀川長生病院長藤田元吉は去る八月廿日同市北區上福島木村寅次郎三女ちよが疫痢に罹りて入院し翌日死亡したるをちよの生存が僅か一時間餘なりしにも拘らず二日に亙れりとて二日分の入院料を請求したるを寅次郎が承知せず紛紜沙汰となり取調べの結果端無くも病院が死亡診斷書に誤りの記載を爲せる事發見せられ藤田院長は文書僞造傳染病法違反として廿日告發せられたり（大阪特電）

●五名慘死　發動機の爆發
十八日大分縣東國東郡姬島村精米業古城覺太郎方の精米用石油發動機爆發し同家は見る影もなく破壞し家族覺太郎始め一家五人は無慘の死を遂げたり（大分電報）

●石本代議士　當選無効判決
高知縣選出代議士憲政會石本鏆太郎氏は廿日大阪控訴院にて當選無効の判決言渡ありたり（大阪特電）

●自動車に衝突して負傷　運の惡るい男
二十日午後四時二十分頃京城瑞麟洞百十七番地居住鍾路自動車商會主金錫晋(三)が自動自轉車にて鍾路二丁目鍾路警察署前を疾走中折柄前方より黃金町一丁目の京南自動車商會の十號自動車に運轉手京畿道利川郡邑內生れの張起奭(三)が三名の客を乘せて疾驅し來り錫晋の乘れる自動自轉車に衝突して顚覆せしめたる爲め錫晋は前額部左足等に治療一週間を要する擦過傷を負ひたる騷ぎに鍾路署より警官駈付け錫晋を共愛堂醫院にて手當を受けしめたり因みに自動車に輕微の破損ありたるも自轉車には異狀なかりしと尙被害者錫晋は前日自己所有の自動車が龍山岡崎町にて電柱に衝突して大破損を來したるが運惡くも其の翌日は自身に負傷したる次第なりと

●辯護士拘引さる
名古屋辯護士法學士大西新一郎は業務橫領罪にて拘引せられたり（名古屋電報）

●重役は背任罪
愛知縣津島染色株式會社重役三名は背任罪の嫌疑にて同地に於て取調べらる（名古屋電報）

大戰の敎訓
▽理學博士三宅驥一氏談△（三）

◇羊毛と砂糖の獨立
現下の世界大戰に鑑みると日用品の自給自足は是非共必要である、假令自國に於て少々の不便不利益があらうとも一朝有事の際を考へると等閑に附すべき問題ではない、是非共平素より用意し準備して國難に備へなければならぬ、よしまた戰爭は第二義とするも平和の經濟戰に於ても外國に金を支拂はぬだけ利益である

わたくしは序に羊毛のことを述べて見よう、今日世界を見渡してわが日本は最も羊の尠ない國として有名である、歐羅巴では英國、獨逸、佛蘭西みな自國產の羊毛を採て毛織物を作つてゐる、なるべく植民地のものを的にせぬやうに努めてゐる、獨逸に於ては今何千萬頭といふ羊が居る、狹い英國でさへ三千餘萬頭、殆んど日本に現在せる牛馬の全頭數の十倍に當つてゐる。

然るに日本ではせい〲一萬頭に足らぬ羊が居るのみで若し一朝國難に際し外國からの輸入が止れば日本の軍隊は木綿を著て戰はねばならぬ。近來朝鮮に於ても京元線の洗浦に總督府の牧場が出來たが是非奬勵したいものである、從來日本內地で失敗したのは多くは風土に適はぬ缺點もあつたがなるべく日本向きの種類を撰んで增殖したいものである。

次は砂糖の問題である、砂糖は文明の進むと共に需要が增すものだが日本に於ても最早や奢澤品でなく日用食料品の一つとなつた、日本內地に於ては人口一人につき十一斤の消費額を示し、獨佛は三四十斤、英は六十斤より七十斤近く消費して居る

朝鮮でも近來甜菜糖の栽培を着手しかけてゐるが內地は主に臺灣の甘蔗によつて自給し次いで小笠原、鹿兒島、琉球等を加へ一箇年約五六億斤を產して居る、臺灣に於ける大正五年の產額は六億斤に上つたが今後もこれ以上はむつかしく唯だやう〱

登錄商標　金牌受領
本椿香油
本椿ポマード
男女頭髮用（チックびん附も時代遲れ）
好評を博せる本椿を以て謹製せり
毛を黑く柔げつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙也
本舖　大阪　三宅堂

日本の需要を充すのみである。されば將來人口が增すに從ひ日本も愈よ砂糖の不足に窮らねばならぬこれを救濟するには、東北、北海道地方に甜菜を植ゑるが必要で朝鮮に於ても是非やらねばならぬ、目下世界の砂糖は甘蔗甜菜とも半々の割に出來てゐるが寒い土地には是非甜菜を植ゑねばならぬ、朝鮮なども戰前獨逸及び露西亞產を輸入してゐたが將來はこんなことでは不可ぬと思ふ

灯とも頃
▲景福宮から北門に上る淸雲洞の一帶は後ろに白岳を負ひ仁旺山を控へて京城唯一の名所といふ評判である▲殊に近來金嘉鎭男爵邸のあとには津田鍜雄氏が手を入れて見違へる程な建築となつた▲また山上の正門には十間幅の大道を開いて奧まりたるあたり數寄を凝らした日本座敷さへ設けられた▲それに評判の藥水の岩には鯉を放つた池さへあつて小溪を溯つた松翠の間にはお宮や亭が風流にならぶ▲試みに欄によつて眼をはなてば遠く漢江は指顧の裡にあり南山また呼べば應へむとして慶會樓は脚下に見ゆる▲それに此所の名物は藥水ラジウム水の風呂の振舞ひ▲お隣の鵲巢居なる蘇峰先生の命名によれば家が雲莊で絕頂のものが幽石亭▲何れ遠からず御近所つきあひとして『秋のながめは石坡亭』の向ふを張る心算ださうな▲芳賀東山博士は間島旅行中に可成澤山に俳句を作つた『初秋の山川人の和似たり』『五穀稔れば寄合村の喜色かな』等はよく日、支、鮮人雜淆の間島の狀が目に浮ぶ▲此の外博士の句には『間島』を讀込んだもので俳趣を膨らまして居る

秋の子供　樂しい運動會
樂しい秋が來ました。小學校の生徒たちは元氣になつて活潑になつて、鳥のやうに跳ね廻つて居ります。それにうれしい運動會の季節となりました。西大門小學校では二十九日校庭にて催ほします。日出は十月六日奬忠壇で。東大門と元町は十月の七日校庭で、櫻井は十三日奬忠壇で催ほします。また南大門と龍山とは十四日にいたします。去年はコレラで沙汰止みとなりましたが、今年はどんなに樂しいことでございませう。日出小學校河合校長は次の通り語られました。『第二學期に入り三週間になりました。生徒は稍や夏とちがひ、何れも元氣で體育の方は充分力の用ゐ甲斐が見えて來ます。家庭では唯だ喰ひすぎや、寢冷を注意して貰へば間違ひありません。兒童は秋涼と共に、非常に元氣で運動するやうになります。運動會もこれまでは多く參觀人に觀せるやうな傾向がありましたが、これからは兒童自身に面白いものを選びます。ソレデ別段運動會一日の爲めに、練習などはいたしません。唯だ綱引、徒競走などもやらせたいと思ひます』

◇◆◇◆◇◆

●城津の運送界　城津郡地方黑鉛鑛業の勃興せると久原鑛業所の[illegible]山等に貨物運送所[illegible]牛車駄場は一日約二百四五十頭に達するも尙ほ不足[illegible]牛馬駄賃約四萬二千圓あり尙ほ久原古堡荷扱所にての支拂額を合すれば[illegible]十萬圓以上に達するなり而して運搬[illegible]せん見込にて運搬從業者は間島地方より輸入の支那馬匹七百頭を除き他は全部地方農家の農閑期を利用して[illegible]

●他工廠員平壤着　東京砲兵工廠提理代理松浦少將及び朝鮮兵[illegible]

●連絡船上陸客　廿日午前八時五十八分釜山入港高麗丸一二三等客[illegible]明、張等附、金文彬、李昭爾、熊本[illegible]三等（二百七名）　廿日午後九時三十分釜山入港對馬丸[illegible]

天氣　晴れ　（九月廿二日[illegible]）

商況

公債直取引（東京）二十一日出來値

種類	値
五分利特別	九五、七〇
一回四分	—
二回四分	—
五分	九五、七〇

深川正米特電　二十一日現在高

種類	現在高
內地米	一四五、二〇六
鮮米	一八、三二〇
臺灣米	一七、九六〇

東京期米特電　二十一日前場　十一月限

	十一月限
寄付	二二、三〇
高値	二二、三三
安値	二二、一八
止め	二二、一八

大阪株式　二十日後場

種類	拂込額	前日
宇治川水	五〇、〇〇	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇八、四〇
合同紡績	五〇、〇〇	八八、四〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二四三、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	一三三、〇〇
東洋精糖	五〇、〇〇	一五五、三〇
大阪商船	五〇、〇〇	二〇〇、一〇
日本郵船	五〇、〇〇	一六九、八〇
同上新株	五〇、〇〇	二三〇、七〇
堂島米穀	二五、〇〇	—
東京株式	一二、五〇	二二五、五〇
東京新株	五〇、〇〇	—
大阪株式	五〇、〇〇	一八六、〇〇
大阪新株	一二、五〇	—

大阪三品特電　二十一日前場

限月	値
九月限	一七八、九〇
十月限	一七五、五〇
十一月限	一六九、九〇
十二月限	一六七、六五
一月限	一六四、九五
二月限	一六三、九五

大阪期米特電　二十一日前場

	値
當限寄付	二二、四四
中限寄付	二二、五一
先限寄付	二二、三七

下關期米特電　二十一日前場　東入暗なるも下盛り

當限	中限	先限
—	—	—

雜報
銀塊五十三片半
綿糸布氣丈　大阪三品は[illegible]
棉更に二圓高
綿布龍レ一八圓九十錢九龍九圓三鉛先物九圓

●**正米突飛す**　連日暴騰[illegible]
圓七八十錢在來種十九
二十圓以上に出來神力種
約五十錢內外は確實に突飛
仁川其他の地方又高く更に幾分高値
[illegible]

●**牛皮區々と軟調**　[illegible]
殆んど出拂ひ盡し
全く品切
大皮は稍活潑
●**荏子走り**　南鮮產荏子の[illegible]

●**粟の山東初輸出**
逆輸出　靑島に向け積出
●**東洋南洋方面への供給不可能**
[illegible]

●**木材の大拂底**（京城）
[illegible]**原木一割より三割方の値上**[illegible]
對岸の高値に曳かるゝ[illegible]
拂底に若しめるがたゝ各商店に[illegible]
鮮內は各地品拂底[illegible]

●**麥粉次第高**
鯉の四圓二十錢
見當を以て支那各方面に需要多し
安値より約二十錢
乃至二十五錢方騰貴
[illegible]

●**精米更に奔騰**
十二圓より十二圓五十錢

京城正米
更に三四十錢方引上げ
圓三四十錢を唱へ
小賣値は二十一日より
五十錢方を跳ね上げ相場約四[illegible]

南大門の廻穀

品目	數量	品目	數量
島田玄米	八四叺	平壤粟	二七叺
平澤玄米	五四叺	元山白米	一九叺
砂里院玄	二七叺	元山白米	一八九叺
砂里院玄	五四叺	仁川粟	二四叺
仁川粟	二四叺	天安大豆	六叺
仁川粟	二四四叺	水原白米	九叺
鐵原粟	二〇〇叺	水原大豆	七叺
鳥山白米	四五叺	漣川小豆	一二七叺
鳥山白米	五八叺	漣川小麥	[illegible]
平澤白米	一一叺	鳥致院胡麻	二〇叺
收山白米	三八叺	水原大麥	三〇叺

釜山穀物（二十日）
▲正米（保合）本邦大阪定期米は[illegible]
▲大豆（大豆安）[illegible]

生魚市場
[illegible]

仁川期米
▲**二十一日前場**（下鞘る）
大阪天候曇[illegible]
天より八錢安
大阪三節三[illegible]
十八錢安入電
大阪六節三[illegible]
十二錢と小戾し入電

市場雜聞
▲**保合下鞘る**[illegible]

▲**依然强硬**[illegible]
物現はれ能く消化
一部の煎れ退き多く一面優勢なる賣
▲**期近强硬**[illegible]
▲**受渡豫想**[illegible]
一千九百石の受渡
▲**正米と期米**[illegible]
高値に突駈け來れり
本年夏の[illegible]
正米事情を以て定期
先限の先限に二百
丁の大下鞘
▲**先安人氣は多少**[illegible]

▲**彼岸の入り**　本日は彼岸の入り當日にて天候は大なる晴れ[illegible]先づ彼岸日和としては上蘭の[illegible]である

仁川米豆取引所
廿一日の十一月限

	値
寄付	十七圓五十九錢
一節	[illegible]
二節	[illegible]
三節	[illegible]
四節	[illegible]
五節	[illegible]

限月	賣買取組高
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]

…伴ふ日常需要物資の激增等にて城津港に於ける運搬界は空前の盛況を呈し鋪店中山を主とし吉州、端川、商…月より本年六月迄の城津にて支拂ひたる賃金は二萬五千圓に達し其他の鑛業家各商店、旅客等の支拂ひたる…馬匹七百頭を除き欠原にて平壤より穀川牛三十六頭を移入したり其他全部農家各種の運賃は約十萬圓に達…經濟に及ぼす好影響は少なからざるものとす尚ほ之が爲め同地方の晩用牛馬は昨年に比し倍額以上の昂騰を見たり(北清)

…三時十三分滿浦面より赴任せし…場には工藤長官、鳥山法院長、松寺檢事長、水谷少將其他官民有志等多數出迎へたり

●巨大なる木造船

盛んに建造される
―ボロ汽船が一萬金 ドシ〳〵賣れて行く―

船腹不足の聲も隨分久しいものだが折柄米國の鐵禁輸が各造船所は勿論海運業者に取りては殆ど致命傷とも謂つべき

▽大打擊を與へ船價は更に更に奔騰を續けつゝあるは人も知る如くにてヤレ解禁運動のヤレ對米政策のと騷いで見ても根つから二階から眼藥程にも効きさうにない雲行き斯うなると鐵に代ふる好材料を以て船を造らねばならず夫れには恰度

▽近來目覺しく進歩し來れる木造船の建造に依りて綫に一方の血路を開かねばならぬと大阪にては今津、安治川筋や尻無し川にて昨今頻りと建造中のものはツイ此の七月に二千噸といふ新記錄の巨船を進水せしめた岡本造船所には第六第七の萬盛丸各七百噸のものを筆頭に藤永田、新宅以下の造船所にて實に

▽二十餘艘の巨大なる木造船の工を急ぎつゝありと而し船價の著しく騰貴せると併行なして造船費も一躍五割方の暴騰を示せるも到底先約注文に應じきれぬ盛況にて剩へ肝腎恃みの船成るもこの動力たる汽罐が皆無となり漸く古汽罐のボロを繕り辛くも喘ぎ〳〵の熱を上げ居るもの、其の汽罐が拂底の結果今日にては殆ど

▽骨董的の評價となり戰爭前百五六十圓にて何人も買取るを喜ばざりしものが今日一萬二三千圓にさへ釣上げられつゝありとは全く嘘のやうな事實となり斯くて今日の造船界は獨り木船の全盛期となりしもの、如しと某當業者は語れり(大阪)

●奠都五十年祭 會場は上野か

東京市主催に係る奠都五十年祭は愈來る十一月三日を以て擧行なるべき旨市會協議會に於て可決したるは既報の如くなるが市會各派議員は意外に大乘氣にて何うせやるなら

◆大模規にやれと意氣込み凄じく從つて豫算等の如きも當初に比して著しく增し約十二三萬圓支出を市會に上程の都合にて會場は祭典案の提出者たる山口副議長一派が上野說を主張し居れば無論上野と定るべきも十一月上旬頃は竹の臺の陳列館に文展開會中とて不都合を生ずる恐れあれば先づ文部省に對し

◆當日限り 文展の休場を交涉する事となるべし、當日は又畏くも天皇陛下の行幸を仰ぐ希望にて既に中野議長より波多野宮相を通じ御內意を伺ひ出でたるが多分御聽許相成るべしと承はる、餘興につきては目下種々あるが中にも相撲流鏑馬等有力にて其他例により煙火を打揚げ花電車數臺を運轉し

◆花の日會 は市內各所にて慣例により慈善花を賣り且つ學校側にては奠都唱歌を編纂して當日小學校生徒に合唱せしめんとの議もあり尚奠都祭の記念事業たる市廳舍の新築問題は未だ具體的の案は出でざるも市議員間には嫌に研究されつゝあれば之れまた近々の中に問題となるべくたゞ敷地の選定には困却し居る模樣なるが市理事者の幹部側にては日比谷公園櫻田門寄北隅の空地を適當と認め居ると(東京)

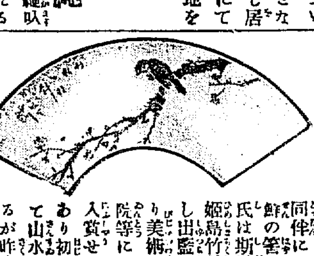
●內地繩より高い 朝鮮產の繩

仁川地方及び富川郡等に於ける繩叺の製造は近年非常に增加し來りたるが是れ最近船腹不足の結果內地品は多額の運賃を要する爲め朝鮮に於ては値段引合はざるのみならず船主も繩叺の如き

△荒荷積を 喜ばざる等の爲め移入捗々しからざるより遽かに朝鮮產繩叺の需要旺んになりたるに依る者にして此れに就いて某當業者は曰く內地品は播州產の繩十把十六七錢にて此れに十六錢の運賃を要するを以て結局仁川に於ける內地品は三十二三錢と言ふ

△破格の高値 にて取引せられつゝ有り然も輸送機關の不足より移入困難なる矢先き新穀出廻期を前に控へ居るより商人は何れも先高を見越して朝鮮產繩叺の買集めを行ひ當初繩十把に付き二十五錢と言ふ未曾有の高値を掲げて買集めたる處此の高値なるを聞込みたる奧地方面より

△無限に搬出 し來り昨今に至りては多少下落したるも尚ほ未だ製品粗惡なる朝鮮產繩が內地本場品に比し數割高と言ふ奇觀を呈し居れり叺は朝鮮產上二十錢にて當業者の本年需用豫想高は約五十萬叺繩は六十萬把以上なり云々



●秋坪畫伯來鮮 南宗畫家の金剛山探勝

美術院派に屬する南宗畫の大家にして大阪に於ける山田秋坪畫伯は今回北村百泉畫伯と同伴にて近く來鮮の筈なるが同氏は斯道の名家姬島竹外に師事し出藍の譽れあり美術協會美術院等に出品して入賞せし事屢々あり初めは好みて山水を描きたるが昨今にては花鳥を最も得意とし居れり今回金剛山探勝後有志の勸請により京城に立寄り畫會を催す事となるべし

●安東の宗演師

鎌倉圓覺寺管長釋宗演禪師は大野宗逸二條厚基兩氏を伴ひ支那巡錫の途次十九日夜平壤より來安二十日午前十一時より鎭江山臨濟寺に於て臨濟錄の一部を提唱せるが參聽者には森領事永田採鑛事長成田醫學士等を始め數十名あり同夜更に公會堂に於て有益なる一場の講演を試み二十一日午前十時四十分發列車にて奉天に向け出發す(安東縣)

●水野疎梅氏來る

豫て詩、書を以て令名ある筑前福岡の水野疎梅氏は今回金剛山探勝途次入京廿二日江原道に向つて出發すべしと

◆撞球上の禮儀

撞球の興味を殺ぐ不眞面な撞手

秋の夜長の徒然な消費にも似たる撞球愛好家上、紅葉の球の快活なる響音に醉ひつゝ伸びやかなる心もてゲームを爭ふによき時となりぬ、左の一篇は吉田大日本撞球協會長の寄すところの、心ある好球家の嗜んと欲する所を忌憚なく記せるもの、以て戒とすべきもの多し、由て玆に掲ぐ

■國運を賭して戰ふ一國と一國との爭にも戰時國際公法とて互に嚴守すべき規約があれば、丁稚小僧の戰はす將棋其他の賭事にも夫れ〴〵守るべき禮儀作法がある

■まして紳士の娛樂交際の機關として勝敗を爭ふ撞球上にも其れ相應の禮儀もあれば作法もなくてはならぬ、然るに我尊敬すべき京城球友諸君の中に、此の禮儀作法が辨へぬ紳士が多々あるを見受くるに至つては、に慨嘆に堪へぬ次第である、僕は此の玉突上の禮儀を重んぜんがため玆に倦まれ口が敵いて球友諸君の反省を促したいと思ふ

■先づ第一の苦情は自分が一命懸命突いて居る最中、相手が傍の玉臺と談笑をしたり又は他人と雜談をしたりして一向自分の玉を興味を以て注意しない事である、自分が全力を注いで今にも突切らんとして居る最中、相手が傍で欠伸をしたり他人と話をしたり甚しきに至つては傍の玉臺でボーイと談笑をされたりしたら誰でも不愉快千萬、決して心持宜しくはあるまいと思ふ、殊に相手に對し敬意を缺き、紳士の興ふる甚しきもので、僕はそんな人とは再び試合をせぬ事にして居る

■相手が用便其他電話が掛けに行つてすら億劫な顏をしたり稽古玉を撞かれては之程不愉快のものはあるまいと思ふ、而して相手の撞く時には自分が熱心に撞いて居る最中心持宜くないのに自分が何に「僕の玉はどちらだ」と一々繰返されては勝敗に味もなければ何の面白味もない、相手が何に下手と雖、相手の玉の取り方、突き工合を見ての内で批評、若し上手なれば尚更の事熱心に注視して自分の參考に資し勉めて自分の進步發達を計らねばならぬと思ふ

■相手の玉はどうでもよい、自分さへ早く突いて勝てば了へば其で宜しいと只々勝ばかり急ぐやうでは玉突の興味は沒却されるのである、それから第二の苦情は突く丹の人が他人と話しながら撞く事で甚しきに至つては撞きながら商賣の話をしたり世間話をしたりする人がある、之も相手を輕蔑する事甚だしく再び試合をする興味を持たなくなる

■次に第三の苦情は勝負の結果勝つ時は相手の不快に感ずる程馬鹿に悅び負けた時は一言の挨拶もなく澁面作つて歸つて了ふ事で此は折角の遊戲も自他共に不愉快に別れねばならぬ事になる、尤も多少の敵愾心がなくては何の勝負事にも面白味は少ないが相手の不快を招く程喜怒の念を現はしてはいくないと思ふ

■要するに撞球は紳士の娛樂交際の機關であるから自分が樂しむと同時に相手をも樂しましめ勝てし負もして讓らぬ間に別れる樣にしたいと思ふ、我し名を來して先輩球友諸君の反省を促す次第である(吉田生)

●武田和尚追悼會

武田和尚の命日は六月二十三日なるも本年は同日の追悼會を延期したるを以て來る二十三日午後二時より龍山瑞龍寺に於て有志發起にて盛大なる追悼會を執行すべく多數の參拜を希望すと

●奈良丸の歸朝

過般米國各地を漫遊せる浪界の驍將吉田奈良丸は二十日歸阪せり(大阪特電)

●赤痢

京城太平通二丁目三百九番地小川すみゑ(三一)並木町六十九番地五十嵐わい(三七)明治町一丁目四十五番地江草音三郎(二)は十九日何れも赤痢と診斷さる

●秋季種痘施行

廿一日より十日まで

京城府の本年秋季種痘は左記の日割にて施行せらるべく各町居住者はそれ〴〵指定の種痘所に於いて種痘を受くべしと

▲九月二十一日 岡崎町、青葉町一丁目、元町一丁目、岩根町、漢江通自一番地至五番、漢江通十五番地十六番地廳舍前の一部(順化院漢江通組合以外所側方より青路の中央に通れる道路より東方全部)

▲同二十二日 三坂通の一部(古市町より越ゆる坂路を一直線に引きたる線より北方全部青葉町二丁目、京町、山手町、麻町、洞の一部二十一日施行さる殘全部、漢江通ノ番地、八番地二村洞東部

▲同二十三日 三坂通(二十二日施行せざる殘全部)青葉町三丁目、朱町、滿水町、桃花洞二村洞西部、漢江通七番地十一番地十三番地の一部、龍氣會社出張所側方道路及同社宅陸軍官舍東兵器廠官舍より北方一部同十三番地龍山堂書店より北方全部

▲同二十四日 元町二丁目、四丁目、漢江通十一番地(殘り全部但陸軍官舍を除く)同十三番地龍山堂書店より南方全部)

▲同二十五日 大島町、元町三丁目、漢江通十一番地(陸軍官舍全部)

▲同二十六日 彌生町、漢江通九番地、同十番地

▲同二十七日 錦町(以上龍山憲兵分隊管內)

▲十月一日 吉野町一二丁目、古市町

▲同二日 南大門通六丁目、南米倉町、旭町、蓬萊町一丁目、旭町二丁目

▲同三日 本町一二丁目、南山町一二丁目旭町三丁目、明治町一二丁目、永樂町一丁目、南大門通三丁目

▲同四日 永樂町二丁目、若草町、本町三丁目、櫻井町、日の出町、壽町、南山町三丁目

▲同五日 本町四丁目、櫻井町一二丁目、大和町一二三丁目

▲同六日 新町、本町五丁目、壽町、東四軒町、西四軒町、黃金町六七丁目、光熙町二丁目

▲同七日 黃金町四丁目、林町、黃金町三丁目、初音町、花園町、茶屋町、黃金町五丁目、芳山町、水標町、笠井町、黃金町二丁目

▲同八日 長谷川町、南大門通一丁目、黃金町一丁目安藩管內三角町、三丁目の一部、黃金町二丁目安藩管內

▲同九日 北米倉町、大平通二丁目、西小門町、武德町、貞洞、黃金町一丁目の一部、大平通安藩管內

▲同十日 和泉町、義州通一二丁目、蛤洞、披芳洞、中林洞、蓬萊町二丁目、西界洞

＊渚の砂＊

■裸で長道中 愛知縣知多郡高濱町一丁目吉田熊造(二〇)は名古屋市某町五丁目木原といふ飲食店に奉公中大に赴くべく裸のみ一張のまゝ出發、殆ど道中で食料代にして了ひ一文もなしになり名古屋から京都迄步き着いて大佛前の木賃宿に飛び込み家人を驚かせた

■死裝束で自殺 備前上道郡西大寺町魚商小松原喜平(四六)は妻兒二人を遺して妻が病死したので生活難の結果發狂して十七日無阿彌陀佛と書いた白の死裝束を着し七寸位の短刀を以て咽喉を突き斷つて自殺を企てたが果さなかつた

■稀な三毛猫 靜岡市稲荷町阿原家畜病院に牡の三毛猫がある、此の三毛猫は世間に多いが牡は日本中東京に一匹あるばかりださうな

■變つた曲者 福岡市馬出町生れの松本曼吉(一八)は活動寫眞の仲間をして居たが東京へ行つて見やうと出發して海道を步いて行く內に廣島市外で路傍に乾して居る女の赤い腰卷ばかり數枚を取つて取り代へて居た

■鷄口を振る女 久留米市吉野町野口久太郎(四〇)妻とよ(三九)と近所の平田福太郎(三八)同人長男福太郎(一七)の二組は十八日夕方大のことから大喧嘩をなしとよは福太郎を擲りつけた

■嫉妬から毒殺 鹿兒島縣日置郡東市來村字尾木(三〇)と同所某(二九)の二人は何れも同じく磯野村の情婦となり嫉妬の果てとうとう妻を呼び寄せお茶だと言つて毒を飮ませて毒殺し己れも其の薬を飮んで生命危篤に陷つた

▲チリ豆腐別法 私は今チリ豆腐が何よりの好物にて之に就ては幾年來の經驗を有して居りますが先日本欄に御記載のものとは少々間違つて居る處もある樣に思ひますから、御參考迄に御知せ致します先づ鍋に水を入れ昆布を敷き火にかけ煮出汁の出た頃魚の肉を入れよく煮出し一旦魚を掬ひ上げその後へ豆腐を入れ今度は上つた處を全部鍋に取ります右の湯の中へくゞらせた位で宜敷いので長く煮ると風味を失ひます先日の方法には半分煮ますとありましたがチリ豆腐の本來は一寸湯の中へ一度入れる事を一踊と云ふにあるので決して煮る樣にするのとは全然異ふ樣に思ひます(チリ狂生投)

●悲慘なる一家へ

石川彌三郎一家への同情金
▲金五圓 京城某氏

●曹洞宗彼岸會

若草町曹洞宗別院にては二十一日より二十七日まで毎日午後八時より說教あり參詣隨意なりと

●神理敎會所(南山町三丁目)

月次祭典は來る廿二日午後八時より祭典執行、式後講話あり

左甚五郎

第三十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

大久保彥左衛門は甚五郎が思案の體を見て

彥『何うじや甚五郎お受けは出來ぬか』

甚『ハイ』と云つたが復考へて、這麼名人の中へ一人入つて鈍な仕事を爲りやア是まで苦勞をした甲斐もなく、俺の名を汚し大久保樣へも御迷惑を掛ける、さすれば飛彈の山源の師匠內匠の名まで汚さなければならず、と云つて此の仕事にかゝつても見たし、甚五郎も半信半疑で

甚『宜し、此仕事一ツかゝつて見やう、萬一叶けなかつたら大久保樣がお斷りをして遣ると云ふから遣つて見やう』と甚五郎胸に問ひ腹に答へ

甚『エー殿樣、それでは誠に恐入りましたが、折角の仰せ故一ツかゝつて見ます、今申上げました通り龍を手掛けたことが無いので、始めて遣る仕事ですから、何うぞ殿樣より宜しくお係りへ申して下さい』

彥『それは心配には及ばん』

甚『有り難う存じます』

彥『然らば早々かゝる樣甚五郎より屆けるから左樣心得ろ』

萬事は彥左衛門が取計らひくれるのであるから早い、乃で此の鐘樓堂の龍は四人で作へて取付けるといふことに相成つた御存知の通り上野の鐘樓堂は只今では上が無くなつてしまつて臺石ばかりになつて居りますが、周圍は草蓬々として居ります、以前は鐘樓堂の周圍はグルリと廻れる樣に相成つて居りました、臺石だけでも却々高うございますが、あの上へ鐘樓堂が載つて居りましたので隨分高いものです、惜しいことに燒けてしまつてありませんが、愈々屆けが濟んで下小屋を掛けることゝなつたが、小屋は一ツであつても中に仕切がありまして四ツに境界が附いて居ります、誰が仕事をして居る處もお互ひに見ねない樣になつて居りまする、愈々今日より仕事にかゝることに相成つた吉兵衛、仁兵衛、喜三郎、何れも仕事にかゝりましてございますが、甚五郎當日は病氣の屆を出して仕事にかゝりません、誰は云ふと眞實の病氣で無い、假病を構へて仕事場へ入らん、さア今日はといふと始めて龍を彫るのですから何か宜い見本を欲しいものだと思ひ、彫刻師には限りません畫の先生でもなんでも註文を受けて楠公を描いてくれろと云はれた時に、此の畫の先生が楠公を知つて居て會つたといふ譯でも無し、是れ手本を相手に描くものでせう、又彫刻師が孔子樣の像を彫つてくれろと云はれて、孔子樣を見たこともなし皆手本に就て彫るものでありませう、甚五郎もそれと同じ樣で何か手本が無くつては叶けないと思ふから良い手本を、と探すと茲に深川の猿江に慈眼寺といふ寺がある、此處の蛙股の龍が誠に宜く彫つてあるといふことを聞いて、直に猿江の慈眼寺へ出懸けて行つて正面へ對つて甚五郎が熟と見て居たが、成程宜く彫つてある、宜く彫つてあるけれども甚五郎の氣に叶はない、本彫で美事に出來て居るが生きて居るといふ氣味が少しも無い、巧く出來て居ても是では叶けないと思つて深く醒して歸つて來た其の日はそれなり翌日になると又聞き込んだのは、本鄕の菊坂に久川といふお醫者樣がある、其の土藏の觀音開きが漆喰細工で上り下りの龍が出來て居るのが大變の評判、是を一ツ見せて貰はふと又々出懸けて參つたが、他と違つて無暗に他人の家へ入る譯には叶かない、途中で菓子折を一ツ求めてそれを持つて久川の處へ來て

甚『御免下さい、私は淺草三軒町の大工棟梁政右衛門の家の職人ですが、お宅の土藏の觀音開きの龍は誠に美事に出來て居るといふ評判で、拜見に出ましたのですが、如何でございませう見せて頂きたいもので』と申入れました。

牛乳 御用 朝鮮ホテル 衛戍病院 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

高麗人蔘エキスは品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある 京城府明治町一丁目 小笠原大藥房 電話一九四八番 振替京城三七五三番

九月廿三日 九星
舊八月八日 戊辰
本命二黑坤 危 先負

▲二黑● 使され安き日新事見合す方は吉路劍坤 ▲三碧● 目論見相の事有り日新事手控 ▲四綠● 一利一害の日なれども新事控目の方吉辯術易は妨なし ▲五黃● 顚狂の事有日の日新事手控 ▲六白● 萬入念にせらるべし ▲七赤● 新事手控 ▲八白● 權衡のされぬ事有日新事手控 ▲九紫● 祝顧の日 ▲一白● 厄介なる事多き日新事手控 注意せらるべし

口演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○廿一日より提供の四大寫眞(入場料普通) ▲米國キーストン會社傑作 ○滑稽活劇チャップリンの芝居(全二卷) ○舊劇穴山小助(全四卷) ▲佛國パテー米國支社特作品 ○第四レッドサークル(全廿八卷の內第七八篇四卷) ○事實譚「無線の塔婆」

壽座 京城壽町 電話五七八番 連鎖喜劇團一行 毎日午後六時開演

黃金館 電話二三六七 二三六六 ○九月廿一日より特別大興行 ▲新派悲劇○米國ユニヴァーサル會社傑作 ○泰西六活劇名刀(原名我軍來る)(全三卷) ▲大中將家の秘密(改題「疑問の墓」)

有樂館 早川演藝部直營活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番 ▲騷動『相馬大作誠忠錄』 ▲敎育社會劇『毒流』(原名靴)(全五卷) ○新派悲劇『女優福』(全五卷)

四大寫眞提供 ◉六月廿一日より八日間に亘り ◉大阪朝日新聞連載實譚 上中下 無緣の塔婆 ◉第四レッドサークル ◉米國キーストン會社傑作 ニコ〳〵寫眞滑稽大活 チャップリンの芝居 ▼大勉强料金特に普通にて御覽に供 二十一日より 大正館

◉穴山小助 尾上松之助 主演

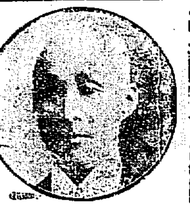
左記の當行振出送金小切手紛失の旨屆出有之候に付該小切手は九月八日迄に振出人より申出無之候に付本券は無効と致候

A一〇三五〇 一金壹百貳拾五圓也 一受取人 京城本町 株式會社漢城銀行 八番地 大正六年九月拾五日 京城南大門通 株式會社漢城銀行

京城日報 後れ

京城溫度 廿一日正午 二十三度四分 最高 二十八度八分 最低 … 二十六度 …

(ミツワ文庫六•九)



四萬六千日の話

一日の徳四萬六千日に當る
月每に一日の功徳日はあり

市川八百藏談

毎月七月十日に四萬六千日と云ひまして淺草の觀音様には參詣の人が黑山の様でございます此は昔はなかつたさうでございます此の日内で赤い唐もろこしを雷除と云つて商て居ますが之を買はないものはございません此の赤い唐もろこしと云ふものも文化の頃まではなかたものでございます。四萬六千日と申しますのは此の日一日詣の功徳が四萬六千日參詣の功徳に當ると云ふ所から出た名ださうでございます此の功徳日と云ふものは此の七月十日に限りしたことではなく月毎にありますもので正月の朔日が百日の功徳に當り二月の晦日が九十日三月では四日が百日の功徳四月の十八日が百日の功徳五月十八日が四百日六月の十八日が同じく四百日七月の十日が四萬六千日に當る大功徳日八月廿六日が四千日九月には二十日が四千日十月には十九日が四百日に當ります十一月は七日が六千日の功徳十二月には十九日が四千日の功徳に當ると云ふことが江戸鹿子と云ふものに見えて居りますさうでございます此の十二日のうちで七月十日が特さら四萬六千日の大功徳日と云ふことで此の日に限りまして人の出が非常に多かつたものです昔は此の淺草寺の境内で茶せんを商ふ者が随分多く出ましたが此は大概田舍の男が此へ參詣して買つて歸つたものださうですが寛政の頃からはもの絶えたと云ふことでございますよく四萬六千日と云ふのはどう云ふことだらうと話の序などに出ますものですから承つたまゝ此んなお話を申し上げました殘暑が嚴しい節ですが朝夕はもう秋氣が涼しく流れて居ますから入浴の實に快い時でございます此の入浴の際の洗料は皮膚の營養を助けるミツワ石鹸が何よりでございますミツワ石鹸は專門家に伺ひますと不純な混合物のない離脂肪も遊離のアルカリもない化學上の純石鹸でありますに上に原料にいゝ脂脂を用ひ日本人の皮膚に適ひます様に精製した理想の石鹸でございまして使つて見ましても實に使ひ心地が宜しく水にも湯にもよく溶けて雪の様に白い泡沫が立ちますから此をお湯で濡れて胖かになりました皮膚に塗りまして靜かに撫でますと汚垢は此の泡沫に混りますから此をお湯で流しますとさつぱりと氣持よく落ちて皮膚は清潔になりまして皮膚は刺激されて荒れる様なことはなく營養は助けられて機能は健やかになり皮膚は生々としていゝ色澤になりまして白粉ののりものびもよくなります石鹸のいゝ惡いは此を使つた後の皮膚に白粉ののりのいゝ惡いで分りますものですが此のミツワ石鹸を使つた後では皮膚に白粉ののりの宜しいことは他の石鹸を使つた時とはまるで違ひます此事によりましても此のミツワ石鹸の宜しいことは分ります。

△坂東秀調曰く 秋に向ひますと、樣く脱毛の二筋三筋かゝりますのに何とも云へず悲しい心持になりますのが此の抜けた毛がもと通りの長さになりますまでには四年の月日がかゝりますさうですから。毛髪の發生を助けるミツワ椿油を用ゐて毛髪のお手入を怠らない樣におすゝめいたします。此のミツワ椿油をお使ひになりますと、髪の育ちはよくなり、艶黒に艶かに出て美しくなります。

發賣品目錄御申越次第差上可致候 丸見屋商店

●胸腹痛みに……仁丹
●頭痛目眩に……仁丹
●舟車の暈に……仁丹
●煙草代用に……仁丹

新發賣

金言容器

仁丹十五錢包に添附す

特長

金言……二章宛を印刷して修養に好適

容器……新案の紙製にして輕便至極

樂量……十錢包の二倍分あり頗る徳用

故に……仁丹愛用家は卽刻お求め下さい

汽車

京城日報 第三版

九月二十二日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 郵稅一ケ月金拾五錢 前金三ケ月分金一圓六十錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字十六字詰一行金八拾錢 ▲二號活字八字詰一行金壹圓六拾錢 ▲三號活字十一字詰一行金壹圓貳拾錢

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話番號 編輯用 三四五番 營業用 三六番 振替貯金口座 京城 二一四番 二六〇番 二〇〇〇番

座右銘

釋宗演

（通俗講演會に於ける講演）

座右銘
一、早起未更衣靜坐一炷香
一、既著衣帶必禮神佛
一、眠不遲時食不至飽
一、接客如獨處獨處如接客
一、尋常不苟言言則必行
一、臨機勿讓當事再思
一、勿妄想過去遠慮將來
一、負丈夫之氣抱小兒之心
一、就寢如蓋棺離褥如脫屣

（六）

客に接する獨處が如くし獨處る客に接するが如くせよ。之も却々實行は難かしい。動もすれば之が二つに分れたがつて困まる。衲共書生時代雲水時代には思ふて居る事も人前に出ては充分言へなかつたりしたものだが其れは飾る心があるからで、うまく言ひたいの何んのと心に飾りがあると思ふ通り參らんものである。或は又自分より地位の高い人の前に出ると何んだか恥しい樣な、恐ろしい樣な氣がして萎縮して了うことがある。畏れ愼むことは必要ぢやが、徒らに氣後れを取る樣では相成らん。どうも之は知識許りでは駄目らしい。或は又化物だの幽靈だのと云ふことは、愚夫愚婦の言ふことだと知つては居りますが、何ッ幽靈も化物もあるものかと酒でも飲んだ時は勝手な事を申すが、彼處の山里に昨日死んだ者の遺骸を埋めてあるから彼處迄行つて、何か其の證據に石でも拾つて來いとか、供へてある花を一つ持つて來いとか言はれると、どうです、幽靈など云ふ馬鹿氣たもの、無いとは百も承知して居るけれども、實際の場合に當ると樣な考が起つて來やしませんか。何だか有りさうにも思はれる。殊に其れが親族とか故舊とか親子とか夫婦とか云ふものになると一層嫌な氣がする。偕老同穴を契つた夫婦でありながら、死別すると夜も眠附かれない人もある樣である。恐ろしい〳〵と思ふて居ると疑心暗鬼を生じて色々な妄想が湧いて來る。大分餘計な事を言出して濟みませんが、兎に角千萬人と雖も吾れ行かむと底の勇氣がなくてはならぬ。話が外れましたが兎に角客に接するにも、獨り居るにも取亂さぬ樣常に心掛けて居りますが、其れは却々難かしい。

尋常苟も言はず言へば必ず行ふ可し。衲共は幸か不幸か、多く人の御座る前に出て話する機會が多いが、此の項切に感じて來たのは、人前に出て言ふは可いが、果して己れ自身が其れを行つて居るか否かと顧みると、責任を感じて滅多な事は言へない。假令言ふた事皆行へんでも半分でも四半分でも是非實行しなければならぬと云ふ氣がします。大聖孔子は五十にして天命を知り六十にして耳順ひ、七十にして心の欲する所に從つて法を越えずと申されたが、修養の極致は此處に到らねば成らぬと思ふのである。機に臨みて讓るなかれ、事に當つて再び思へよ。機とは心の働きを言ふのであります。心機一發するとか、一轉するとか云ふことは、豫め待設けられない。そこで機に臨んでは……即ち天より與へられた機會が到來したならば、一歩も容赦はない。恰も龍の風雲に乘ずるが如く疾風迅雷でやらねばならん。愚圖〳〵して居ると一生涯機會を逃がして了ふ。併し之は投機的の心とは違ひます。千思萬考、一たび機會到來したならば、其の疾きこと風の如くに其の機會を捉へる。此所は以心傳心で說明の出來ん所であるが、諸君は能く之を實行して御座るかも知れん。事に當りて再び思へよ。小事は忽に附し勝なものであるが、何事も能く考へる事が必要であらうと思ひます。古人も日に三たび吾身を省みると申しましたが、進んで何事かを實行するのにも、又退いて守るのにも能く物事を熟慮する事が大切である。輕々に事を爲せば、失敗を招き、後悔先きに立たぬ事に相成る。妄りに過去を思ふ勿れ、遠く將來を慮れよ。怎うも人間と云ふものは過來しかたを兎や角と思惱む。そして其の間に色々な妄想が湧いて來て、役にも立たぬ事に時間を潰すと云ふ事が有勝ちである。妄想と云ふ奴は甚だ不可ません。御承知の北條時宗は偉い人物である。山陽は相模太郎膽斗の如しと拵申して居ますが、[illegible]來極く弱い人であつた。殊には一と堪りもなく辟易する人であつた。そこで時宗が精神の師と仰いだのが我が圓覺寺の開山佛光國師であります。國師より莫煩惱又莫妄想とも申してありますが、此の誡に依りまして修養に修養を積み遂に彼の樣な偉い人物に相成つた。妄想があると勇氣が消ねて了う。そこで妄に過去を思はず、遠く將來を慮る。遠く將來を慮ると妄りに過去を思はなくなる。

露國軍事內閣成立事情

露國が共和制を採用してケレンスキー氏を中心とする五名の軍事內閣を組織せりとの情報に關しては其筋に於ても公電ありたれば恐らく事實なるべし但し政體變更は主憲合議の議決を經べきが當の順序にして假政府

△成立以來懸案 となり居たる今回突然ケレンスキー首相に依りて之が宣言を見たるに就ては內外の事情已むを得ざるものありて此の變則的方法に出でしものなるべく何れ國民議會成立の場合は此の間の事情を說明して事後承諾の態度に出づるものと想察せらる蓋し該宣言發布は莫斯科大會の

△當然の歸結 とも觀るべきものにして一般民衆はケ氏の處置を以て機宜を得たるものと做し之を默認せり目下の露國々情は强力なる獨裁的內閣を組織して戰線の軍紀を緊肅し以て戰爭の目的を貫徹するにあり今回の事變に依り首相の地位益す堅固を加へ遂に軍事內閣の成立を見るに至りたるは露國の爲め甚だ

△喜ぶべき現象 にして而かも之と目的を同じうするコルニロフ將軍が事の行違ひに依り今日の如き運命に遭遇したるは實に同情に堪へざる也＝東京電話＝（十八日東京支局特電）

北城 大森林縱斷（三）

鏡城 山崎眞雄

面事務所及び憲兵派遣所に寄つて近況を聞かうと思つたが行程が急ぐ爲失敬して直に

△七班洞 に向ふたこゝの市場は先年十一年前始めて院洞と云ふ所に開設せしも土地狹隘であつたから大正元年本洞に移轉して市況陽ると振はず取引の大宗たる家畜の一ケ年の取引高僅に三百圓位戶數三十戶許り憲兵派遣所及朱乙溫面面事務所の在る所此處の面事務所は朱乙溫面に比して稍や劣る大無明るい硝子窓の連べない家である遺憾ながら此處も素通りにして朱村役場に向ふた

△朱村役場 に着いたのは午後三時七班洞から此處迄は三里である市場は今を去る九十年前始めて開設したが五十年前一旦之を廢止し更に二十年前に至つて是を再興したのである開市日は毎月四、九の日戶數六十戶許り可なり賑かな市場で

△取引貨物中 の大宗たる牛は一ケ年の取引高は三萬圓を超ゆ麻布の如きも七千圓を算すと云ふ併し聊か遺憾に堪へられぬのは農産物の市場に於て取引されぬ一事である例へば大豆の如きもの賣買せんとせば各個農家を巡つて買ひ集めざるを得ない而かも是は此の市場のみでない咸北全般の狀態である是を家畜の如く市場に取引する事としたならば自他何れ丈け便利かも知れない此處には

△憲兵派遣所 と朱南面事務所とが在る事務所は昔ながらのすゝけた陰氣で空氣が濁れて居る樣である面長さんは亡父君の御祭りとかで家に歸り一人の書記が辯護する樣なせぬ樣な忙しい樣なさうでない樣な狀態で座つて居つた種々市場の狀況など聞いてゐる內に時計は四時を打つた是から先林洞迄は泊る樣な家はないから是限に泊まれと無暗に慫慂めのみ顧つて同行の千葉は滅法界に頭を搔かせ一寸も見ながけぬ何しても動けぬと默々をこねる奴を無理に引張つて鬼面洞迄行くことにした千葉君も

△居者の手に [illegible]

誰（74）

布施生譯

「駄目だもう皆分つてゐるのだ。」夫人はさう思ふと少し周章た。利介は得たりと詰寄つて「あの子供の事もお忘れですか、貴女と兒との間に出來た子供の事も。」夫人は辛うじて勇氣を回復して「子供なんてそんな事は皆嘘構です。」「嘘構ぢやありません、あの賴太郎…米賴太郎の事ですよ、貴女に村上…上手に細工をして人目を眩まさうとなさいましたね。しかし奧樣、兒は貴女方より又一段優手ですよ。天の配劑と云ふ事があるのを貴女は知りませんか、兒は先達て長い漂浪の旅から歸つてきたのです、そして倫敦へ流れて來ると其處である青年に會ひました、段々話合つて見ると、それが賴太郎です、そして自分と貴女との仲に出來た子供だと云ふ事も分つたのです。」夫人は息もつけなかつた。利介は愈々勢に乘つて「兒はそれが分ると早速賴太郎を養親の手から引取りました。其內兒は病氣に罹つたんです、金が無いから勿論食へません、弟の私もお恥かしながら僅の恩給で暮してゐる身分です、二人とも如何する事も出來ません、兒は自分が亡くなつた後の賴太郎の事が氣になつて堪らないと見えて、或晩とう〳〵私を呼んで貴女との仲を白狀したんです、そして彼女は今巴里で富豪の家に嫁いてゐる。あれは性質の良い女だからまさか私や子供の事は忘れてしまつて居やあしまい。あれに會つてよく子供の事を賴んで吳れ。あれの行末が可哀そうで堪らないからと、病氣に窶れた手を合して吳々も賴んだのでした。」良しう話終つて利介はじろりと夫人の顏を見た「奧樣、それで今朝お伺ひした樣な次第です」普通なら夫人は利介の前に跪いて正直に心の底を打明けた上何とか穩便の處置をしたらうが、此時は餘り突然の話に前後して何より先に夫人の外聞を擔ふ事ばかり考へた、夫人は俺まで隱蔽る心算になつて「折角ですが何とも致方はございません、成程二十何年か前お兒樣と私との間には少々の事はございました、しかし只今ではもう何の御縁もございません、あの時お兒樣からお預かり致しました小僧は今迄大切に持つて居りましたが、貴方がお出下さいましたを幸い此處で貴方にお返し申しましよう、實はこれまでお兒樣が如何してあれを取りにいらつしやらなかつたか不思議に思つて居りましたのでございます。」さう言つて利介がまだ何とも言はぬ間に懷から例の遺品の小僧を出して利介の前に押遣つた、利介は少し周章て「待つて下さい、僕は兒の方に考へがあつたのでしやう」言ふとも俟たず夫人は椅子を立つた、利介は其出て行けがしの仕打を見ると腹を立て、「然樣、いや保部の奧樣」呼びかけたが夫人はもう耳に入れる樣子も無い、利介は凄い眼をぎろりと光らせて、「覺ねて居ろ、お禮は屹度してやるから。」

□滿洲鑛山調査

鈴木の飛躍準備

鈴木商店鑛業部技師工學士 大石隆章氏談

大石工學士は一兩日前入港の釜山丸より釜山上陸吉林に赴く爲め北行したるが車中往訪の記者に語りて曰く

自分等が今回吉林に赴く要件は豫て陳吉林觀察使より同地駐在帝國領事の手を經て本店鑛業部に屢々交涉し來りし吉林省三道溝附近に散在せる銅鑛及び石炭鑛の採掘經營に關する實地調査の爲めにして本店の田中氏及び京城、奉天の兩支店員各一名宛都合四人連にて往くことゝなし居れり、本店鑛業部としては未だ支那に於て經營を爲したることなきを以て

△吉林の鑛山 に就きても如何なる狀態なるや更らに知る處なきも嚢に陳觀察使の調査書に據れば餘程豐富なる鑛層を有し其鑛區も廣大なるもの、如くなるより將來同地の領事を煩して報告を得たるに事實有望なるが如く殊に石炭鑛の如きは炭量豐富にして之れ亦炭坑として十分經營の價値あるもの、由なれば自分等は愈よ實地に就きて精密の調査を行ふ筈なり從來同地方に於て他國人の鑛山探險調査を行はんとせば地方人民は暴行

△迫害を加へ 何れも十分の目的を達せしものなき由なるを以て自分等一行の調査に對しては特に觀察府より護衛兵を附し安全に遂行し得べき保證を得たれば此度は精細に各鑛山の踏査を行ひ得べしと心して出懸けたるなり、此度の調査にして所期の如くなるに於ては直ちに支那政府より認可批准の手續をなし大規模に採鑛を行ひ同地に

△精錬場設置 の計畫もあり伺ほ本店に於て過日來久原、三井等と合同し湖南省に於ける各種鑛業の經營を爲すべく同地官憲と交涉を重ねつゝあるが之れ又た近く協定を得べき模樣なり同鑛業は最初は合同者より四百萬圓を出資し試驗的に經營し其成績良好なる曉には大擴張を爲し得べく協定を遂げ居れりと聞けり神戶鈴木商店としては

△將來は支那 各地に向ふて大に發展を試むべき計畫にて現今各方面に涉りて調査研究中なるを以て着々之れが計畫の實現を見るの期あるべしと信ず（釜山）

雜誌抄

◇民間療法（保健）

▲雀斑 蚣や蜂に螫されたら、鵬の葉を揉みて局部に附くべし

▲火傷 火傷の輕きものは刻み煙草を貼れば治るが重いのなら油をつけて胡瓜を乞ふが好い

▲痔 千葉大根の葉の乾したのゝ布袋てソレを布に包み局部へあてがひ數回之を行ふか、ハコベといふ草を食鹽にてもみ、其汁を日に數回つければ好い但しコレは一時的の救法である

▲仁川現物界 沃川玄米十九圓二十錢黃海玄米十八圓八十五錢 [illegible]

▲廣告▼

碁

名人本因坊師指導 圍碁通信教授會員募集
□新式圖解 普通科 三ケ月卒業
□原理詳解 速成科 改訂一ケ年卒業
第三回 高等研究科 新
見本 三錢券封入 細則希望者は京城日報廣告に出る旨記し申込あれ
□入會金全免
東京神田區美土代町四ノ五 振替東京一〇五八九 中央圍棋會

月刊 碁海 日本紙刷 一名人本因坊指南遺局 價十五錢 一年前金一圓四十錢 直接名人の一教を受くる機あり 見本は郵券十五錢を要す

特價提供 神品 圍棋神髓 本因坊八年苦心の大著述 定石布石 部根本解決
和帙入七冊十二圓九十錢（送料共） 皮金三冊十圓九十錢
中央圍棋會 東京堂 北隆館 神戶日東館 大阪盛文館 取次

移轉廣告
今般都合に依り左記へ移轉致候
京城本町二丁目八七 村上寫眞館橫道第千代本降
下村泰造 電話八六番

眼鏡
米國製金張眼鏡
甲 二十二金 三圓五十錢 乙 二分附 二圓五十錢
二十金 二圓十七錢 ...
九十八金 一圓九十錢
赤銅、銀、ニッケル、鐵、等種々多數入荷
防埃用、礦石用、植物用、銅版用、等の擴大鏡品揃
御注文の節は凡て玉の大小を御通知被下度候
メニスコス クリ 山 玉 品揃
凹近眼玉 A 一圓五十錢 B 一圓 C 六十錢
凸老眼玉 A 一圓五十錢 B 二圓 C 六十錢
宅價表御入用の御方は御申越被下度
中村眼鏡店 京城本町一丁目 振替京城一三四六番 電話一壹一七番

明治大學 校外生募集 最好機
校外生ハ講義錄ニ就キ修學スル者ニシテ目下新學期開始ノ際ナルヲ以テ入學申込ノ向ヘハ中越次第送付ス
詳細ナル規則書入用ノ向ヘハ申越次第送付ス
法科講義錄 本大學法科ノ學級ト同ク第一、第二、第三學年ニ分ツ◉月謝ハ各學年トモ五十五錢トス但減額ノ特例アリ◉志望者ハ何學年ヘ入學スルモ隨意トス三學年ヲ兼修スルトキハ一年ニテ全科目ヲ修了スル事ヲ得 各學年共十月初旬ヨリ發行、一ケ年ニテ完結
法學選科講義錄 警察官、司法官、裁判所書記、府縣郡市町村吏員等ノ職司ヒ及其受驗準備ニ必要ニシテ且ツ國民生活上必修ヲ要スル諸學科ヲ登載ス◉月謝ハ五十五錢トス但減額ノ特例アリ 十月十日ヨリ發行、一ケ年ニテ完結
高等豫備講義錄 高等學校、高等商、工業、醫學專門其他ノ高等諸學校ノ入學試驗準備ニ必要ナル諸學科ヲ登載ス◉月謝ハ五十錢トス但減額ノ特例アリ 八月十五日ヨリ發行、七ケ月ニテ完結
東京神田駿河臺 振替口座東京參貳六五番 明治大學出版部

都山流 尺八 音譜
若松の雪 玉の秋 里の月 深夜の曲 松の曉 秋の發 秋音の樂
二十五錢 二十錢 二十錢 二十五錢 二十五錢 二十錢 二十錢
（送料二錢）
大阪心齋橋筋三丁目 合名會社 前川

京城黃金町二丁目 松浦京城出張店
歐風家具室內裝飾品製造卸販賣
電話（三五九番）營業主任 西松治郎

女學世界 十月號
普く病者に斯の葉を採らせ…
▲婦人と讀書の趣味 五十嵐力
▲狹く程は風がもて來る落葉哉 宮田脩 河合酔茗
▲泣く兒に負けるな 與謝野晶子
一年草（二才媛の批評と感想） 茅野雅子
銀杏の葉
▲山鳥の娘（童話） 佐々木邦
▲夫の遺志を果した奮闘の婦人 杉浦政夫
▲現代婦人の床しき面影 婦人記者
心の響（波瀾重疊の長篇小說） 北島春石
▲母なき淋しみ（實話） 濱千鳥
▲傳說に現はれたる女の話 御歌草史
▲小宰相の君（平家時話） 松平操子
就職の日……（小說） 久保田富江
結婚式の前の日…… 薄むらさき
▲忙しくても能書になれる法 佐藤藤蔵
▲野趣味に富める十月の生花 尾崎恒子
▲秋を彩る流行のいろ〳〵 婦人記者
女俳諧師 千代尼の墓に詣づる記 佐伯博士
十月號 ◦ 定價金二十三錢（郵稅金二錢） ◦ 東京本町 博文館

ハンマーネクタイピン 色々出來ました 一個金參圓也
地方御注文は代金引換小包便に御送り致します
京城本町二 村木時計舖金工部 電話四七一番 振替三九〇番

大賣出し
弊店儀今回業務擴張の爲め左記に移轉仕候に付倍舊の御引立の程願上候
就者移轉披露として廿一日より向五日間大割引を以て販賣致候に付多少に不拘御買上の程願上候
尙綿類は弊店の特長に付特に大勉强致します
京城本町二丁目 岩見屋吳服店 電話貳參參番

廿一日の十一月限 [illegible]

○黒龍江省紛擾解決

黒龍江省の紛擾は張督軍の調停功を奏し許蘭洲氏は其の部下の兵を率ゐて奉天に來り軍職に就くに決定許氏は二十日出發せりとの公報あり（奉天特電）

○廣東形勢漸次持直す

屢々悲觀說を傳へられたる廣東の形勢は其の後漸次良好なるもの〻如く黒南軍の給與も全部行はれ又た陳督軍は最近國會議員百八十餘名を會し段氏一派に對しては全然反對なる旨聲明し今後の軍事行動に就きては事機密に屬するを以て今茲に公表するを得ずと告げたり（上海電報）

○ケ首相等大本營に赴く

露都來電＝露國首相ケレンスキー、參謀總長アレキシーフ大將、陸相フエルコフスキー海相フエルテレフスキー氏等は大本營に赴けり（桑港電報）

○コ將軍の審問完了す

露都來電＝モギレフに拘禁されたるコルニロフ將軍外二三名の將校は政府審問委員の面前に答辯を完了せり但し判決は未だ與へられず（桑港電報）

○佛國下院新内閣信任

佛國下院は一票對三百七十八票の大多數にて新内閣を信任したり（巴里電報）

○獨紙植民地拋棄否認

海牙來電＝モグデブルグ新聞は羅馬法王の講和提議に對する獨逸の回答案中には其南洋に於ける領土を拋棄すとの言を含むとの想像の下に獨逸植民大臣は植民地確保に關する從來の聲明を反古にしたりと記載せるに對し北獨逸日報は右の想像は全然根據なきものにして植民大臣は獨逸の全植民地を確保することを講和の一要件となすこと前述に異ならずと報ずることを許されたる旨を記載したり（桑港電報）

○獨逸戰時公債募集

獨逸が今回募集せる第七回戰時公債は五分利附長期債と四分五厘附國庫債券との二種あり其の條件は第六期公債と同樣なり（海牙電報）

○七十億弗支出案可決

米國下院は軍事防備及び製艦局に要する巨額の支出を包含する七十億弗の支出補充案を通過したり（華盛頓電報）

○陸軍將校增俸

陸軍省は一般官吏增俸に伴ひ將校の增俸をなすべく豫算を大藏省に廻附せるが其の内容は增俸額は平均して陸軍省所管の俸給三千萬圓の各二割六百萬圓内外にして其の割當は中尉以上大佐級までを比較的多く增俸し少佐の俸給を特に增加すべしと

○在外檢船官設置

近來支那各港に於ける日本船舶の出入著しく增加せるが之に對し上海には既に日本政府の日本船舶檢査官設置せられ更に二十一日の閣議に於て香港領事館内にも船舶檢査官一名（遞信技師）を置き日本船舶を檢査せしむる事に決定し二十二日官報勅令を以て發布せらるべし（東京特電）

○犬養氏渡支期

犬養國民黨總理は十月中旬東京出發支那視察の途に就くことに決定せりと傳へらる（東京電）

○棉相場又昂騰

二十一日の入電は紐育米棉相場又た二百高、印度棉相場七十錢高を報じ來れり（大阪特電）

○銀塊五十四片

倫敦銀塊五十四片となれり（大阪特電）

○山鐵收入增加

山東鐵道及び炭鑛部十日間の收入は

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○本來伯剌工たる墺洪國をして、凝結一致せしめたる所以は、聯合國が、一方には洪牙利の一部を割きて、羅馬尼に與へ、他方には墺國の一部を割きて、伊太利に與へんと約束したるが爲めと云ふも、決して牽强附會の說にあらざる可し。故に曰く、其の死解を防止したるは、聯合國側の賜也と。

○聯合國側に於ては、我物にあらざる領土を、割讓する次第なれば、何等痛痒を感ず可き理由なきも、割取せらる〻國に取りては、隨分苦痛を感せざるを得ず。然も如上の理由によりて、墺洪國は、聯合國が無暗に斯る空切手を、發行したることを、寧ろ感謝す可きのみ。

○英佛兩國が、露國の態度の頗る曖昧なるに氣を揉み、君子丹丁堡を露國に取らしむ可しとの、約束をなしたるも、隱れなき事實也。此が爲めに土耳其は勿論、勃牙利をも、愈よ同盟側に加擔するの、腑を固めしめたり。而して斯る結構なる賄賂を―縱令空切手にせよ―懷きつ〻も、露國舊政府は、尙ほ左支右吾しつ〻、遂ひに顚覆せられたり。斯くて聯合國側は、此が爲めに蛇蜂取らずと做れり。

○吾人は決して聯合國側を、非難せんとする者にあらず。但だ史家の立場として、彼等が其の裡面に、此の如き魂膽を廻らしたりしことを、看過する能はざるのみ。乃ち米國の參戰の如きも、恐らくは裡面に、若干の消息ある可きや論なきのみ。

二十萬圓より二十二三萬圓を上下し昨年夏季に於ける收入三四萬圓に比し格段の增收なり（青島電報）

○駐滿軍演習と支那將校

四十五名參加せん

來る十月初旬擧行せらるべき我が駐滿軍隊の秋季演習に對し支那側より二十七師の各旅長、參謀、各大隊長併せて四十五名參加すべしと（奉天特電）

○軍司令官動靜

松川朝鮮軍司令官は西鮮視察の途二十日午後新義州著直ちに義州へ赴き二十一日午前同地守備隊を巡視し同地一泊二十二日朝出發南行す可し（安東縣）

○清會線一開通

蒼坪、豐山間

清會線蒼坪、豐山間二十一日より營業を開始したり是にて清津會寧間は一日にて往復し得べし（清津特電）

○商議選擧色めく

來る十月一日に於ける元山商業會議所議員改選に對し昨今候補者の運動漸く開始され咸南新報社長畑本逸平氏は及川現會頭聲援の爲め咸興より元山に來り目下運動方法畫策中なり（元山特電）

◉採公著筏狀況

採木公司の九月二十日調査に依れば著筏數二千八百五十臺其連數百一萬四千六百連內既買取引濟のもの二千三百二十二臺其連數八十三萬二千六百五十九連取引未濟の分五百二十八臺其連數十八萬一千九百四十一連なり近時江水の增加に伴ひ日々五六十臺の著筏を見つ〻あるも九月下旬に入りたる今日北風吹來るに於ては江水は急に減少し流筏は途中に停滯するに至る可きを以て樂觀し難き狀況に在り從つて木材相場は著筏の增加せるに拘はらず下押の氣勢あるも未だ容易に下落を見ず殊に紅松の良材は其數量も少なく各地の需用甚だ多く取引頗る活潑なりと（安東縣）

◉京畿農作近況

京畿道管內に於ける稻作狀況を聞くに管內南部は槪ね豐作なれども北部は豐作と云ふに至らず他道に於て頻出するが如き各種害虫の被害は殆んど絕無にして螟虫に因る稻の白穗の如きも昨今其の發生時機に在るにも拘はらず容易に之を發見せず只今後天候の關係卽ち秋冷の早來なく日中の適溫を得ば大局より見て豐作には至らずとも平作は大丈夫なるべし而かも農家には尙豐作の聲高き現狀に在りて苗代時機の旱害と揷秧時機の遲延と其後天候の不順等に比すれば確かに豐作と言ふを得べく其他一般畑作物も案外好況にして大豆の如きは八月下旬より上旬にかけて尺蠖虫の發生を見たる地方ありたるも既に根絕し差したる被害を見ず之れ亦好況を傳へ居れりと

◉京畿道種苗場設置

京畿道管內にては從來道直營に係る種苗場の設置せられたるものなく此種勸農施設の事業は總て水原勸業模範場に於て之を實行し來りたる有樣なるが品種改良其他事業の爲めには原種製造所設置の益々必要なるを認め愈々今回東大門外卽ち高陽郡崇仁面祭基里に道種苗場の設置を計畫し既に本月始めより其の建築に著手十月末には竣工の運びに至るべし而して此の建築工事費五千圓を算し本年度に於ける種苗場事業の第一著手として已に麥の播種に從事し居れりと

◉醸造品評會

總督府商品陳列館に於て左記規定に依り朝鮮醸造品々評會開催に付農商工部長官及[illegible]支部長官の名を以て各道長官に[illegible]て管內當業者に精々出品方を勸誘さる可く尙同會規定第九條に依り出品人に於ける出品物の選定に對し所轄府郡島官吏の立會を要す可きに付き可成財務官吏をして同條の出品物選定期日十月十三日迄に立會の上規定の手續を完了せしむべく府尹郡守島司に示達すべく通牒する處ありたり

▲朝鮮醸造品々評會規定

第一條 朝鮮醸造業者の進步發達を圖るを目的とし大正六年十月二十七日より十月三十一日迄五日間朝鮮總督府商品陳列館に於て醸造品々評會を開催す

第二條 本會は朝鮮醸造品々評會と稱す本會の事務は朝鮮總督府商品陳列館內に於て取扱ふ

第三條 本會の出品は出品人の朝鮮に於て製造したるものにして左の各號に該當するものに限る

一 淸酒は採取當時容器に五石以上現存するものなること

二 燒酎、白酒、味淋、葡萄酒又は果實酒は採取當時各一石以上同一製造場內に現存するものなること

三 醬油は採取當時一容器に二石以上現存するものなること

四 味噌は採取當時一容器に五十貫以上現存するものなること

第四條 出品は各種に付一點とす但製造方法の異なる每に更に各一點を出品することを得

第五條 出品は審査用及陳列用の二種とす淸酒又は醬油は各一點に付き六罎とし三罎を審査用三罎を陳列用とす燒酎、白酒、味淋、葡萄酒又は果實酒は各一點に付四罎とし二罎を審査用二罎を陳列用とす味噌は各一點に付二個とし一個を審査用一個を陳列用とす

第六條 酒類又は醬油は約四合入大味噌は約五百目入大の陶製又は硝子製の容器を用ゆべし但審査用酒類及醬油は必ず麥酒罎を用ゆべし

第七條 審査用の出品には第三號樣式の票箋を粘付くるの外商標又は屋號製造者等を表示したる票箋を貼付すべからず陳列用の出品物は販賣するものと同一體裁と爲すべし

第八條 本會に出品せむとする者は第一號樣式の申込書に第二號樣式の解說書を添へ十月五日迄に出品の製造所所在地を管轄する府郡島を經て本會に差出すべし

第九條 出品人は所轄府郡島官吏の立會を得て十月十二日以前に出品の塡充を爲し封緘紙を以て之に封緘を施す可し前項の封緘紙には塡充月日及び立會官吏の官氏名を記載し其の捺印を受くべし

第十條 出品は十月二十一日迄に本會に搬入すべし前項の期日迄に本會に搬入せざる出品は審査に付せざることある可し出品の搬入に要する費用は出品人の負擔とす

第十一條 審査は出品の品質に付之を行ふ但防腐劑又は甘味劑使用の有無等を參酌することあるべし

第十二條 審査の結果優良と認めたる出品に對しては左の等級を付し其の出品人に賞狀を授與す　一等　二等　三等

第十三條 出品人は審査及授賞に關し異議の申込をなし又は授賞後出品に關し不正の行爲ありたることを發見したるときは審査を取消すべし

第十四條 賞狀は十月二十七日之を授與す

第十五條 觀覽時間は每日午前九時より午後四時迄とす

第十六條 [illegible]

◉漢江下流の運輸

麻浦稅關監視署の調査に由れば大正五年中仁川より麻浦及び龍山津に入港したる船舶の數は帆船五百二十二隻一萬六百九十八噸、麻浦及び龍山津より仁川に出港したる船舶は帆船五百二十四隻一萬七百二十二噸にして之を前年度に對比する時は入港に於て汽船一隻三噸帆船七十四隻一千八百四十噸出港に於て帆船七十隻一千七百九十六噸の各減退を示せり而して本年上半期の計數を見るに入港帆船百三十九隻二千八百二十一噸出港帆船百三十八隻二千八百八噸を算せり次に大正五年中此船舶に依りて運輸せられたる貨物高は入貨三十六萬九千九百三十三圓出貨二十五萬七千百十六圓にして之を前年中に對比すれば入貨に於て三萬九千八百九十一圓の增加を來たし出貨に於て二十一萬七百二十八圓の減退を見たり而して大正六年上半期に於ける貨物狀況は入貨十五萬二千五百五十二圓出貨三萬二千百五十二圓を算し仁川より麻浦及び龍山津への入貨主要品は石炭石油セメント石材、石粉、石灰、土管、鐵管、電線、木材、染料、綿以等にして麻浦及龍山津より仁川への出貨主要品は籾、玄米、粉米、大豆、小豆、棉、燐寸、コークス、コールタール空樽等なり

◉新義州貿易額

新義州稅關の八月中の同港貿易額は輸移出四十四萬七千五百五十五圓輸移入三十六萬四千六百二十二圓合計八十一萬二千百七十四圓にして之を前年同月に比すれば實に三十萬九千七百十七圓の激增を示せり其內重なるものを列擧すれば輸移出品に於て米十萬五百十三圓魚類一萬百五十六圓豆粕二萬九千百十三圓木材及び板二萬四千九百十圓輸移入品に於て食鹽一萬九千五百圓木材及び板一萬二千九百九十三圓生金巾及びシーチング七千九百四十三圓小麥粉六千三百六十四圓等なり（安東縣）

◉理事長著京

二十二日夜行にて歸連の筈

滿鐵理事長國澤新兵衛博士は上田秘書役並に釜山迄出張せる稻垣工務課長伊藤四郞氏帶同二十一日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入りしが橫井局長伊藤工務課長は烏山まで安藤氏は始興まで出迎へ龍山南大門兩驛には鐵道職員其他の出迎多かりき尙理事長一行は二十二日京城にて用務を便じ同夜九時四十分南大門驛發列車にて直行大連に歸任すべく京元線京義線平南線等の巡視は次回來鮮の際に延引せり

◉學校實習園

京畿道管內に於ける諸種公立學校實習園は大正五年十一月末現在として當局の調査する所に由れば敎材園、普通作物園（田畓）特用作物園（田畓）蔬菜園、果樹園（桑園）苗圃其他に區分せられ以上を合したる學校園實習地積總計三十一町五反四畝二十步諸種公立學校數九十九なるが內譯左の如し

▲公立普通學校數五十五面積二十四町九反九畝五步一學校平均四反五畝十三步なり

▲公立小學校數三十此の學校實習園面積一町六反六畝二十四步、一學校平均五畝十七步の割合なり

▲公立簡易農業學校數十四面積四町八反八畝廿一步一學校平均三反四畝廿七步の割合也と

◉服部暢氏入京

奉天新聞社長服部暢氏二十二日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京す可し

◉朝鮮僧侶團西下

朝鮮僧侶團一行は二十一日午後十一時發列車にて下關に向ひ歸鮮の途に就けり（大阪特電）

◉巡査採用身長改正

朝鮮總督府巡査は從來身長を五尺二寸と規程せしが這回五尺一寸より採用する事に改正せられたり

人事

▲吉野五郎氏（東拓奉天支店長）廿一日夜漢京

▲浦瀨太郎氏（代議士）廿一日夜入京天眞樓へ

▲常月龍太郎氏（東京鑛業家）同上

▲桑原卯吉氏（靜岡貿易商）同上同金へ

百聞百種

革命後の露國軍隊は殆んど前日の模樣はなく頗る奇妙なものになつて居る▲時には兵卒が會議を開いて上長官に反抗するなどは珍らしくない▲イルクック軍團などは團長が中尉で補助官が大將であるなどの奇觀を呈して居る▲而も此の中尉の團長さんは社會主義の爲十數年間監獄に投ぜられて居たが今度の革命騷ぎで特赦された上に拔擢された人だ▲戰線から脫走する歸鄕兵も多いが其等は公然街頭に立つて▲出征兵の徽章を胸間に飾り往來人に寄附金を强請して生活して居るなどはチト振ひ過ぎて居る▲一米人が或る儀式に列して日本でないと見られない奇しいものを見たと云つて居る▲何にかと問ふと絹帽の初期からして今日に至る迄のあらゆる型を一堂に網羅して見る事が出來たと皮肉な樣だが京城でも時とすると吾人もさう云ふ考へを持つ場合がないでもない▲支那隨一の新しい女沈佩貞は久しく其名を耳にせなかつたが▲此頃は廣東に現はれて新聞記者から先生と云はれて大に得意になつて滔々と得意の大風呂敷を擴げて御座る▲北方の探偵ではないかと注意せられて居る樣なが何處迄も新しい女だ▲新しい女と云へば日本の新しい方は人間製造が頗る盛んで目下姙娠中だと云ふのは▲最近出產の分で十二子を擧げる與謝野晶子女史を筆頭とし▲伊藤野枝、山川菊枝、久保田富江等の連中▲來月が出產と云ふのは平塚雷鳥歌人の山田邦子亦懷胎中だとの事▲貧乏人の子澤山と云ふ事があるがこれで見ると新しい女の子澤山と云ふ新しい言葉が出來るかも知れぬ

北鮮

清津　▲清津近海鰮漁　……港內外の從漁船にて二萬尾內外の水……約百隻を增加せるを以て總漁獲高に於ても昨年十二萬圓內外なりしに對……十二艘なり道內重なる需要地は淸津、羅南、鏡城、城津、會寧、雄基にし……產技術會　咸北道廳主催となる本年……十一月二日より四日迄三日間全……絹良好なりしを以て其附近な……くて又た氣候の關係上秋蠶の飼育は……到底至難なる事業として放擲されあ……るに至れり

◉舞ひ戾つて捕はる　……家に潜伏し居る事を探知し直ちに逮捕せんとせしも……

京城學校組合告示第九號

大正六年度京城學校組合歲入出追加豫算組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ

大正六年九月廿二日　朝鮮總督府府尹　金谷充

大正六年度京城學校組合歲入出追加豫算

歲入　臨時部

第一款　繰越金　追加金二千百六十三圓

第一項　前年度繰越金　追加金二千百六十三圓

計金五萬二千二百八十四圓

歲入合計金二十七萬七千百九十一圓

歲出　經常部

第八款　本財產造成費　追加金二千百六十三圓

第二項　敎育基本財產編入金　追加金二千百六十三圓

計金二十一萬五千八百六十六圓

歲出合計金二十七萬七千百九十一圓

歲入出差引殘金ナシ

競爭入札　物品購買　朝鮮總督府遞信局

一、式紙類　參廳

詳細九月二十一日ノ本府官報ニ在リ

公告　物品購買　京城府

一、順化院食糧品醬油外百二十三點

右來ル九月二十五日午後三時入札ニ付ス

土地家屋賣却　廉價

京城長谷川町百十二番地　宅地三十二坪建坪三十二坪

京城長谷川町百〇九番地　宅地三十五坪建坪三十二坪

京城長谷川町百〇五番地　宅地三十八坪建坪二十五坪

京城西小門町八十九坪建坪六十八坪

宅地三十三坪十四番地十八坪

仁川支那町　義生盛本店　電話八一八番

寫眞半額　開業披露の爲

龍山漢江通六番地　平田玉影館

六十六回　新勸業債券を初め御金五圓を通知の番號を通し御債券は

遣りになれば一時に五通の番號を毎月二圓宛の崩しで販賣致しまして通知致しまして其後は代金が濟次第御送り致します

一枚月賦五ケ月拂初め一圓五錢　十ケ月拂初め一圓廿錢

右御拂込みになれば直に債券の番號を通知します

六十六回卽賣十圓八十錢送料十錢

債券賣買定價表及營業案內御申越次第進呈

大阪市東區內本町停留所南

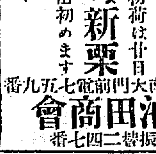
勸業債券合名會社

電話東一四九六　振替大阪一四六四〇〇番

銃修繕

龍山元町二丁目　玉井銃砲工場　電話五三八番

おまちかねの平壤栗



初荷は廿日より新栗出初めます

每年の御得意樣に御知らせ申ます

京城南大門前電七五九番　池田商會　振替二四七番

山林果樹並に蔬菜類の害虫を驅除するにはシーエス液を

木材防腐防虫劑タームヒン製造元

京城府旭町一丁目　山田商店　電話京城一〇七八番　振替京城三一九六番　龍山四二四番

訂正廣告　去る十五日京龍豆腐同業組合なる名義の廣告は京龍豆腐商組合の誤りに付訂正候也　京龍豆腐商組合

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目　京城銀行前　三浦天龍堂　電話一〇〇二番振替京城三〇四番

釜山商店案內

洋酒罐詰卸商　釜山長手通　あづまや商店　振替京城三九番

雜貨卸問屋　月刊商報送呈ス　釜山大廳町壹　明治屋本店

內外雜貨卸問屋　釜山本町二丁目　近江屋支店　電話八〇二番　振替京城一三七番

內外雜貨卸問屋　長岡商店　釜山弁天町長手通　電話八三一番

內外雜貨　鍋釜金物　サクラビール　石油　卸商　近藤商店　釜山本町三丁目　電話長七六八番

商報發行　洋菓子洋酒食料品卸問屋　英米直輸入　東京三河屋　滿鮮代理店　釜山幸町　ミトヤ商店　MITOYA.CO

米穀調製器　收穫用器具　竹製消火器　販賣　釜山本町　朝鮮勸農商會　南鮮發賣元　地方特約店募集

[illegible]實人と漁業者との間に一尾四錢宛にて取引するに決定し十五日より實施せるを以て愈本漁期に入り毎日五十

[illegible]發展を來し本秋漁の如き北道沿海の總出漁船は三百五十隻以上に達すべき見込にて之を前年に比すれば漁船

[illegible]六十二萬貫にして生產額は約六十二萬貫なるが需給共に道内に限られ價格の如きも最高十一錢最低七錢平均

[illegible]輸入するものにて補塡されあり、製炭材料は楢を主とし其他の雜木にて根炭は全く其產出を見ず▲全道畜

[illegible]般夫…▲牡蠣養殖地設置 咸北道に於ける牡蠣蕃殖地としては從來慶興郡西水羅附近なる東蕃浦の一ケ所のみなりし

[illegible]では從來春夏蠶のみを飼育し未だ曾て秋蠶の飼育を爲したる事な

[illegible]、あるが其の成績良好にして八月十三日掃立本月一日頃上蔟せりと此實驗に依る咸北の蠶業界は益々多望な

[illegible]月中草浦面下里鄭洞尙外四名の宅に押入り兇器を脅して家人を脅迫し金品を强奪して逃走行衛不明となりたるより極力捜査中の處去月二十日[illegible]に押送され目下取調中

雲飛びて廣く淋しき北野かな

◎朝鮮に出來る 麻の織物

◇晒し方に成功 ◇洋服地に好い

朝鮮產の大麻は最近の年產額二百五六十萬貫、將來有望な產物の一つである、近頃京城工業專門學校の

■**染織科に** 於ても此の麻織物の研究中であるが同校上田教授の談を聽くに次の如し「大麻は晒し方さへよければ非常に面白い織物となる、大麻はこれを晒すと生地が弱るので世界各國共に困つてゐる、自分達がこんな南鮮產の麻を晒して見た結果によると

■**實に見事** な織物が出來て三越あたりでも大に感心して居るやうである、殊にこれを綺麗に立派に晒しあげると朝鮮人向きとしては實に上等の周衣が出來る、これは確かに從來苧布のものよりもためがよい、また内地人向きとしては

■**最も浴衣** に妙であつて殊に上品な捺染を施せば非常に面白い實用向きとなる、次に北方の咸鏡道でも麻はなか〳〵よく出來ると聞いたが同地方のものは厚地を半晒しにして洋服地に用ゐてよい、次に麻の加工品にはつむぎなども面白いが、唯だ從來の朝鮮人は木の灰汁で晒すから色が著いて困る、この代りには新式の石鹸を用ゐて

■**精練する** と綺麗になるまた從來鮮人仲間に行はれた苛性曹達で煮て天日に晒す方法も非常に地質を損するからこれも晒粉を用ゐて藥品晒しに改良したいものである、晒粉は近來電氣化學工業の勃興と共に内地の九州方面に極く廉價のものが盛んに製造せられてゐる……

◎下水溝に病菌 を認めず

本町署の檢査

京城本町警察署管内にては赤痢及び腸窒扶斯患者續發し今尙終熄するに至らず當局にては防疫警戒に努め居れるが是迄に患者發生したる家並に附近の下水溝及び患者を收容治療しつゝある市内各醫院の下水溝及び井戶水溝渠川等合計二十三箇所より採水したる上檢鏡に附したるが其の結果水中には何等病菌の散漫し居らざること判明したりと

◎婦人賊を取押ふ

住所不定柳昌植(三九)は九月二十日正午頃京城旭町二丁目谷口龍太郎方裏手に侵入し干しある二枚織毛布(八圓)を窃取逃走したるを龍太郎の妻が發見追跡し東京旅館脇にて取押へ本町警察署に突き出したりと

◎賊と憲兵 水中にて格鬪

遂に捕縛す

慶北醴泉憲兵分隊豐基派遣所勤務戶井田上等兵は去月二十九日夜臨督補助員盧容善と共に榮州郡豐基面前郡洞を密行中徹て行衛不明なりし强盜犯人李懷仲を發見したるに件の賊は早くもそれと覺りて直ちに逃走を初めたるより追跡したるに折柄暗夜の事とて姿を見失へるも尙ほ追跡捜査中賊が附近の河中に飛込みたるを探知するや同じく水中に飛び入り逮捕せんとしたるに賊は必死となりて抵抗し茲に大格鬪を演じ居る内戶井田上等兵は誤つて足を辷らして打倒れたるを以て賊は其隙を窺ひ向ふ河岸に泳ぎ著きて逃げ出したるを追跡して一旦取押へたるも何分賊は身長五尺六寸程の大男にて頑强に抵抗して再び河水に逃げ込みたるより戶井田上等兵は盧補助員と共に河水に入り三名死力を盡して鬪ひたる末漸く賊を組伏せたり茲に至り俄かに氣の弛みたる故にや戶井田上等兵が忽ち人事不省に陷らんとせし隙に乘じ賊は三度逃走せんとしたるに盧補助員は素早く戶井田上等兵に應急手當を施して元氣を恢復せしめたる上兩名協力して遂に賊を捕縛引致し目下醴泉憲兵分隊にて取調中なりと(大邱)

◎郵便切手 一千圓紛失す

元山郵便局會計掛保管の郵便切手一千圓紛失し目中犯人嚴探中なるも容易に判明し難き模樣なり(元山特電)

◎公金七百餘圓 橫領して遊興

山形縣北村山郡横山村生れの森周之助(三四)は平北鐵山金鑛郵便局事務員として勤務中本年四月以降八月末迄に規定の帳簿に記入すべき金額を僞造し或は渡邊某外十餘名の預金を横領する等合計約七百圓を横領して同地鐵山樓、鬼笑樓等にて三百餘圓を消費したること發覺して檢擧されたるが以前平南安州局平北昌城郡大楡洞郵便所等に奉職中にも公金を消費して辨濟したることあり新義州支廳檢事局に於て取調べの上起訴され公文書僞造行使橫領罪として同法院の公判に附せられたり

◎全國虎疫累計 四百十六名

内務省調査に係る二十一日正午現在の全國虎列拉患者累計は四百十六名にして之を地方別にすれば左の如し(東京特電)

富山(三一四)石川(七七)新潟(八)群馬(一四)京都(一)東京(二)

◎脫走兵の押送

咸北羅南野砲第二十五聯隊第二中隊二等卒靜岡縣出身荻庄三郎(二三)は實彈射擊演習の爲め先月二十八日會寧郡山城山射擊場に舍營中略裝に軍帽を被りたる儘逃走したるを以て各地に手配中三十一日飄然富寧に現れたる處を同地憲兵の爲めに逮捕され是迄聯隊營倉に監禁中なりしが十七日龍山軍法會議理事の令狀執行安平[illegible]て龍山へ押送されたり

◎軍曹の橫領罪

陸軍運輸部元山支部勤務の河邊軍曹は遊廓通ひを續くる中遊蕩費に窮したるため他人の所持品を入質せしこと發覺して檢擧せらる(元山特電)

◎問題の白川組 後始末を如何する

◇工事は中止しても違約は拂ふ 岡田辯護士談

目下大田地方の問題となり居る白川組の請負工事拔け出しの件につきこれが整理に當り居れる辯護士岡田榮氏の談を聞くに左の如し 白川組が嘗て京釜線大田沃川間の改築工事を鐵道より請負ひ目下工事を中止せるは事實なり、白川組は右工事に就き十六七萬圓の缺損を生じ居れり、此の原因は主として

■**時局の關係** 勞銀の騰貴、增若隧道の難工事に基因するものにして白川組としては寧ろ天災的の不幸に遭ひたるが主因なり第一時局の關係は云ふ迄もなく最近一般物價の騰貴に基き工事に使用する鐵類、火藥等何れも突飛なる高價を唱へ居れる爲その他の工事材料もこれに準じて豫算以外の

■**算盤ちがひ** を生ぜり、第二勞銀の騰貴は目下内地行き人夫の需要多き爲めにして第三の增若隧道は最も白川組の災厄たりし問題なり、隧道は延長三千四百尺、目下その内の千九百尺を穿ちて殘り千六百尺を餘すに過ぎず、然れども同所の岩石の硬さは鋼鐵の鑿と相等しくこれが爲め本年四月より鑿岩機を用ゐて工事を進めたれども遂に去る九月までに此の一箇所に對し

■**十二萬餘圓** の工事費を投ずるに至りたり、斯る次第なれば當の責任者たる白川氏は到底事業繼續の見込みなく總てを投げ出したる次第にして目下鐵道の當局とも協議の上此の上繼續するか但しは十七萬圓の損失を以て赤裸一貫となるかの立場となれり右の次第につき債權者並びに工事關係者に對してはそれ〴〵

■**相當の支拂** をなすべく、工事材料その他の物品にて優に十二萬圓を生むべくこれにて始末すべき方針なりまた白川組が債權者へ對する負債は總額七萬五千五百圓にして他の下請人に對する關係も圓滿に解決すべき方針なり、されば過般傳ふる如く大田地方の經濟界に影響する處は大ならざるべし

◎熊群山畑を襲ふ

咸南長津附近は昔から熊群が出沒し其の被害は夥しいが毎年九十兩月の候が其の跳梁甚しく恰度燕麥の收穫期とて深山幽谷に棲んでゐる熊の群れも此の燕麥を食ふ爲めに數頭位團體を成して日沒頃山の畑に現はれることが多い大物喰ひの熊團體に荒された跡の畑は慘らしい程食ひ蕩されるのだが萬一是に出會したら一大事である假りに一二頭は殪しても手負熊が狂吼すると八方から現はれて來るから全く手が附けられないそこで大仕掛けに包圍襲擊して狩り立てを斷行せねば其の被害を根絶することは到底難かしいと住民は寄々相談中である

◎慶北獸疫猖獗

達城郡玄風附近にては去月來獸疫氣腫疽流行し畜牛馬にして該病に冒かさるゝもの多く去月中に發生したるものは玄風全面花園の三面を通じて約二十頭に達しなほ續々蔓延の兆あるを以て所轄大邱憲兵分隊にては達城郡廳と協議の上病毒豫防のため同地方に於ける畜牛馬に豫防注射を行ふ事となり二十日慶北警務部囑託寺田獸醫と達城郡廳の松原獸醫は現狀調査のため玄風地方に出張して調査に著手し居れり

◎溺屍體漂着

二十日午後三時頃龍山人道鐵橋下の漢江中に推定年齡五十四五歲位勞働體の朝鮮人男の溺屍體漂流し居るを發見し龍山分隊より檢視し他殺の疑ひなく京城府へ引渡したり

◎嚥藥自殺

京城黃金町五丁目梁福汝(二〇)は十九日午後苛性曹達を飲用して自殺を企てたるも死に至らず警官出張檢視の上家人に於て手當て中なり

◎和歌山の 綿ネル商破產

和歌山綿ネル製造業者として手廣く營業し居れる馬場俊雄商店は今回破產したり(大阪特電)

◎妻に斬りつく

高陽郡知道面幸州外里韓靑順(三二)妻金姓女が昨年來附近の某と關係し居るを頭目發見し九月二日夜他家に就寢中なる金姓女を襲ひ小刀を以て四箇所に治療約一箇月を要する重傷を負はせたるより靑順は京城分隊幸州里派遣所の手に逮捕され取調べの上檢事局へ送られたり

◎部下の給料橫領

福岡縣築上郡三毛門村當時平北楚山邑内居住末永廣德(三九)は以前營林廠の技手を勤めしことあり其の後森林看守として楚山在勤中白紙に捺印し部下の給料を胡魔化す等橫領を働きたること發覺し同地憲兵隊の手に檢擧せられ詐欺橫領罪にて此程新義州支廳檢事局に送られたり

◎實生俱樂部會員

東京實生俱樂部主事本間盛清氏は京城各支部會員整理の爲め來京巴城館に投宿中なるが尙ほ四五日中滯在し旁々直接會員入會の申込みに應ずる由

◎竹内氏追悼短歌會

故竹内儆雄氏の知己友人相寄り二十三日午前九時より龍山三角町上太念寺にて追悼短歌會を開催する由當日は題詠五十錢にて當日持參されたし

桑港萬國博覽會金牌受領 ◎賜李王殿下御覽之榮

愈廿二、廿四兩日開催

世界唯一 大仕掛 三河煙火大會

三河は從來德川家康と三河煙火を以て全國に有名なり

延長數百尺にわたり千變萬化極りなき大々的仕掛煙火數組其他特有金魚、銀魚、紅葉、「風玉煙火數千發

會場 京城訓練院

主催 愛知縣煙火獎勵會

後援 愛知縣人會

うかさのうかさ

このあひだ矢野遞信課長が朱安に鯊釣りに行つて、一日長い間綸を垂れてゐたにも拘はらず、漸く四尾……然も小さいの……しか釣れなかつた事をこゝで紹介した▲それを見た課長、大にフン慨し嘗つて名譽恢復をすると力んでゐたが、此の前の日曜仁川の好漁場に下つた▲其日汐の加減で二時間ばかりしか釣り竿を前に出してゐなかつたのに拘はらず、大變ぐあひよく鯊が集まつたと見え六十ばかりとれ合せて息や、加勢の人のを合すると百八十それを重さうに携へて歸つたさうな▲それで課長の名譽恢復も出來、且フン慨も鎭靜した譯だが、その百八十尾の鯊に就て笑話がある▲何でも課長の宅では、寒くなつて食はう位で女中に鯊を燒かしてゐた▲所が雨が二三日も降り續いたため、折角の鯊も大半以上腐つて、猫も逃て行く許りになつたらしく、大手柄の獲物も結局とらないのと同じ事になつたさうな▲高知縣から打て出た憲政會代議士である大連の石本鏆太郎氏は大阪控訴院で當選無効の判決を言渡されたが▲上訴審で何うなるかまだ判らぬけれど多分京城辯護士岡田榮氏が後釜になるだらうとのことである

京日案內

普通

◎店員入用 市内に保證人を要す(?)人來談の事 本町一丁目北内商店 598

◎金融 月收の方に極秘信用貸便宜立替御報伺又は御來談 本町電車終點北大和屋質店 597

◎店員一名入用 但し市内に確實なる保證人を要す 中島印刷所 (01)

◎融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御眼伺上候 京城大和町三の三二(柄澤前)起木屋 (90)

◎そば店至急讓渡たし 市内恰好の場所 姓名任社 (592)

◎金融 官吏商人の方大小口共迅速貸出極秘 黃金町一の一九三朝鮮ホテル左側支那料理店金谷顚横柏屋金融部

◎電話賣物あり希望の方は左記へ照會あれ(電話(二〇)參番) 南山町三丁目 巴城館上 吾郷

大募集 洋譜並大正琴販賣員百名入用有利條件附地方特約店應申込 東京淺草駒形電停留前 東京洋譜協會 566

◎質商又商店向 地▲貸家 間數八四間▲場所林町四九番地▲離家及土藏付 黃金町三丁目二四一番地 古賀迄 557

◎寫眞修整技術及び門生入用 本人直接來談保證人を要す 武橋町菊田寫眞舘 電話一八三 585

番外

求貸間 會社員(家族なし)京城にて閑靜なる家族的の良家を望む 永樂町二ノ七電三〇二六 遠山 600

發動機 中古八馬力、蒸物湯屋用風呂釜新物中古鐵煙筒一分厚徑八寸五分長卅五尺有安價販賣 古鐵賣買 旭町天野商店 電話二〇七〇 595

醫師 八年前醫專出研究後開業全科有經驗▲農場▲會社▲組合醫科病院勤務又開業等希望老至急 要照會 姓名在社 596

恩給 年金五年半分迄低利掛引なし即時立替 京城若草町百六十一番 電話三千十一番 西村商會 599

◎有給外務員採用 三十歲以上午前來談 京城明治町一丁目四六 東京國債朝鮮支部 602

◎はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 483

ゴム風船寶月 詰指サック紙細工セルロイド玩具 ルデサック 定價表無料送 京城太平通 製造卸商 大場ゴム商會 519

◎鑛物定量分析 明治町二ノ七六(電話二七七一番) 本町一丁目江戶川横入 田部分析所 56

恩給年金立替 五年半迄 三年分迄無保險 電話二三九一番 京城若草町一七(金光教會裏手) 國江商會 526

帽子新荷著

中山帽子 中折帽子 其他小供帽子各種 ソフト帽子 鳥打帽子

本邦 各會社製品 英國 グリーン會社製品 ハツタースビー會社製品 ヘンリーサットン會社製品 伊太利 ボルサリノー會社製品

東京・塚谷出張店 京城本町 電話一三六番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候

和洋金物一式 佐藤半次郎商店 京城本町三丁目 電話二一四三番 振替京城二一三〇番

藥種賣藥卸商

醫化學器械一式 Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番 京城永樂町本町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

小鳥捕用 カスミ網 二棚三間 二棚三間半 二棚五間 四間 漁具卸 ◎其他雁鴨兎網等種々あり 京城永樂町 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三二八番

ルエチンシ 梅毒有無診斷液

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、内臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現はるものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他内臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲途に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何を問はれず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就てルエチンの注射を試みられよ、其有無直に判明して疑問は速に解決すべし……本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百％に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり……

說明書あり申込第次送程す

發賣元 東京京橋區南傳馬町三 星製藥株式會社 關西代理店 大阪東區道修町三 小西喜兵衛

かつけに尾崎藤精 村井弦齋先生命名實驗證明 販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會 全國藥店に有

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第廿三回 舊恩 (六)

嫗は正則に辛く當つた伴僧の最後の好くなかつた事を語つて後

『あの和郎も、市殿が此れほど御出世なさると知つたら、彼程强い折檻は致すまいに――要り盲目でござつたの』と得意らしく笑つた

『そこで』と正則は改まる『備後へ云ひ濟く、此の度の合戰、相手は名に負ふ治部少輔ぢや、治部少輔は何うあらうと、島津、毛利、宇喜多、大谷、小西、長束その他大敵がいくらもあるで、生きて歸る見込みはない、姫路のお城で、太閤殿下へお目見得、抜群のお取立に預つて以後、金子米穀その他の物を贈つて、嫗の舊恩に報ふて來たが、まだ〱足りぬ、わしは死んでも恩誼は殘る、わしの無い後まで、嫗の事を忘れては相成らぬぞ、年々の貢、それをお主に申し付け置く』

『心得てござります』と正之は素直に云ふ

『嫗よ和御寮とは、これが見納めにならうも知れぬぞ』

『滅相もない、浮と不祥なこと云はぬもの、鶴龜ぢや〱、他の大將は知らぬが、市殿には此のお寺の觀音樣が付いてござる、觀音樣の御利益で、市殿のお身は安泰、討死どころか、お手柄から御加增ぢや、今の二十萬石が三十萬石四十萬石、百萬石にもお爲りであらう』

『さうなつたら、乳母にも安樂をさせて進るぞ』

『わしの貰ふ米一粒が萬石ぢや、思へば長の年月好い物を貢いでたもつた、ぢやが市殿、わしはあの貢を自分の物には致さぬぞや、村中の難儀な者、隣村の孝行者、それ等へ全部分けて遣つて、これは市殿の志と披露した、由つてお見やれ、此の村に乞丐はない、隣村に不孝者は一人もない、その功德でも、今度の戰爭は御勝利ぢや、鐵砲でも、劍でも、人の情の凝塊には立たぬでの』

『今度無事で歸つたら、嫗を城へ迎へようぞ』

『いや〱』と嫗は頭を振つて『わしは望みませぬ、わしは今の茅屋に暮らすのが望みでござります』

『嫗は何時も堅いのう』

『わしは明日の日も知れぬ老人でござります、この樣な枯木をお城へ入れて、何の補足になされます、それよりは稚木の櫻、おゝ、それよ稚木の櫻、初孫を献らせませう』

『嫗の孫を……はて一段ぢや』

『お待ちなされませ』と嫗は我家へ驅け戻る、秋の陽が次第に沈むと嫗は右の手に十五六の男、左の手に十二三の女兒を引いて家から出た

『恐いわよう、お殿樣は恐いわよう』女兒は身を硬うして嫗の手にぶら下る

『何の恐いことがあらうぞ、お殿樣は佛さまぢや、お慈悲こそ下さるれど、白刄や劍は下されぬ、參れ〱』

嫗は二兒を正則の前へ伴れて來た、女兒は羞しさと恐しさに、嫗のうしろへ潛れようとするが、男兒は鳩のやうな目を圓うして、正則の前に立つて居た

『わしの孫でござります』

『二兒とも好い器量、これをわしに給らうとか』

『わしの代りに。お城へ伴れて下さりませ』

『男の名を何といふ』

『彥丸と申します』

『女は?』

『まだ名を付けませぬ、ものゝ相好が文殊菩薩に似たといふて、皆が菩薩と呼んで居ります』

『菩薩は好い名ぢや、二人とも遣うて來い』と正則は優しい聲で引き寄せて、徐かに額を撫で遣つた

印章ゴム 版木彫刻 名刺印刷 京城本町一丁目 千代田號 電話九七番 振替九八七番

平壤名産ゲンブグリが例年の通り愈々でましたから御用命を願ひます 京城旭町一 電一八五二 玄武堂

皮徽科 入院隨意(診察夜九時迄) 皮膚病 徽毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一七三番)

新刊紹介

▲箇中の樂地(釋宗演著) 釋宗演老師が何人にも解り易き樣、總ふり假名付にて面白く『箇中の樂地』を說きたるもの、世間普く簡易に安心立命の妙諦を得んと欲する者は宜しく本書を讀むべきなり、殊に煩悶に惱む人などは絕好無二の慰安を與ふる事ゆめ疑ふべからず(一冊一圓 東京牛込神樂一ノ一東亞堂)

▲若き女に贈る『花籠』(北野つゆ香女史) 著者曰く『みづからの若さに醉ひこれを味はゝんとなさる方は先づお受け遊ばせこの若き女性の贈りものをあゝこんなにも綺麗な花が盛られてあることでせう。盛られた花――それはいろ〱の花が秘めて居る』と又曰く著者の豐かなる詩情と音樂的筆致とは之れを美しく潤かしきものとなせり裝幀優美なること之れまた出版界の新記錄ならん(一部四十五錢東京本鄕駒込林町三陽堂書)

▲藏前生活(須藤まがね著) クラマへでは朝鮮の御方に通らぬかも知れねどクラマイとは淺草藏前にある東京高等工業學校のこと也、所謂『クラマ』へ入學して高等技術家たらんとする靑年及び現に高等技術家として時めき玉ふ御方が腕白盛りの學生時代に於ける秘史を素ッ破抜きたるものなり(一冊六十錢)東京牛込神樂町一ノ一東亞堂)

▲無塵(一二) 北京に於て同胞の手により發行せらるゝもの、ところ變れば品變る取り〱の內地雜誌に見られぬ面白き記事澤山あり(二十錢 北京無塵社)

▲少年(一二七) 少年雜誌中に於て其の內容體裁共に最も傑出せるは東京時事新報社發行の雜誌『少年』なりとす、本號例により材料豐富にして綺麗亦鮮麗なり(一部十六錢東京々橋南鍋町二ノ一二時事新報社)

▲戰雲(杉山劍俠著) 支那第三次革命戰の從軍記にして讀むに從ひ彼地の人情風俗實狀一切に通曉することを得べし(一部一圓東京々橋南傳馬町一ノ一厚生堂)

▲田園趣味(一ノ二) 七錢東京芝區芝口三ノ五共社

▲鐵世界(三ノ九) 二十錢大阪西區松島町一共社

▲正則中學講義錄(五ノ五) 一ヶ月五十錢 東京神田駿河臺袋町大日本國民中學會

自動車運轉手 自動車!!自動車界は益々有望、運轉手と雖尙月收六七十圓多きは百圓以上(海外二百圓)其多大なる收益は實に高等學府を出づるも及ばざる也本校は自動車並附屬品の製作技師の養成と同時に自動車修繕製作技術の智識を容易に習得し事業的方面及智識をも短期且つ確實に修得せしむる外特に通信敎授の制を設け本校は內外に同一の課程を授く且つ本校は自動車界に密接の聯絡を有するを以て既に從事者の紹介斡旋等を與へ父兄等に對し絕對的保證と滿足を與へ成功の進路を明かにし規則送呈 東京市京橋區 東京私立自動車學校 認可

軍隊毛布 季節はずれではあるが本社が露國軍隊防寒用毛布の注文遲れを冬迄の倉敷と金利を要する爲殘品千組限り決算の都合上茶及鼠毛布二枚織一組原價の直段なる二圓九十五錢で御注文に應ずれば此際至急(ハガキ)にて申込あれ受付順に郵便にて發送す 多くになれば五圓以下では買ぬ品である 東京神田 振替口座東京三四六番 東京織物仲繼店

最新刊 ◎工業帝國 後藤... 一、五〇 ◎美術及美術史概論 ... 八〇 ◎現代宗教思想の主要問題 加藤... 一、〇〇 ◎心學人の道 ... 一、三〇 ◎現代女性觀 ... 九五

露西亞に遊びて 大庭柯公著 定價一圓

大阪屋號書店 ◎杜甫と彌耳頓 德富猪一郎 三、五〇 ◎支那物語 長江十年 ... 一、六〇 ◎稲刷大石內藏助 ... 一、二〇 ◎威力生活 ... 七〇 ◎暴君へ ... 四〇 ◎使用人論 ... 五〇 ◎朝鮮語官受驗提要 ... 四〇 京城本町一

健胃消化錠 ゴルフ タカヂアスターゼを主藥とせる胃腸の新製劑なり 二十錢 四十錢 一圓 東京室町 參昌製藥株式會社

平壤栗著荷 平壤栗 雜穀物問屋 平壤新倉里一三九番地 日鮮商會 電話八二三番 電略〇ヒ又はヒ

醬油景品附大賣出

景品 大樽壹樽に付 三越吳服店壹圓切手 小樽壹樽に付 ヨほまれ味噌壹貫目 ○景品附賣出大樽壹百樽、小樽二千樽限り ○賣出し九月二十日より 京城太平通り 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

料理屋遊びが止んだと板垣伯爵夫人語る

「女は小兒の敎育と、料理と、裁縫さへ上手であれば其れで充分である」と、よく斯う言はれますが實際料理は女に最も必要な資格で、これに熟達して、日々の食卓を賑はす事は、家庭和樂の秘訣であります、一家團欒の樂み、人生に樂しいものはありますまい。世の中が忙しくなつて來るに從つて、この團欒の機會も尠くなつて來ますが、私は家人が一日の激しい務を終つて一家集うて夕飯の食卓に向ふ時が、一家團欒の樂みに耽るには最も良い機會と思ひます。此の場合に若し食卓に趣味が無かつたなら、折角の機會も無趣味不滿足の間に過ぎ去つて終ふのであります、然らば如何にせば食卓に最も趣味多からしむることが出來るかと申すに主婦に料理の智識があつて、其の日〱の食卓に變化を與へて賑す樣にしたなら必ず趣味多くなつて來ると信じます。

料理屋遊びをなす主人が常に家を外にして料理屋遊びをなすので或る家庭で、主婦は種々に思ひ惱んだ揚句フト思ひついたのは料理であります。而して熱心に習ひ覺えて日々品を變へて食卓に趣味あらしめ、家庭の味を充分に覺らしめた結果、其の料理屋遊びは其れ以來フツツリ止んだといふ實例は、私の知つて居る所であります。

料理は、啻に家內和樂の秘訣であります。然しながら料理研究と申せば、直に贅澤であるとか、金がかゝるとかいはれますが、料理研究をした所で、別に高價な料理や贅澤な獻立を研究する必要はありません。料理とは家庭で召し上がる日々三度の食事を調理する事を云ふのであつて、從來用ひて居つた材料を以て、如何に調理すれば美味しく食べられるか如何にせば經濟的に料理されるか、如何に料理せば最も營養價値が多くなるかを研究すれば、料理研究の目的は達せられるのであります。故に料理を研究すれば、不經濟どころか、日々の食事が經濟的になり、然も美味にして、滋養分を多く攝取する事が出來るのであります。

從來上流婦人になる程、自ら料理などする事を恥づる風がありましたが、新時代の婦人は是非料理を研究して、一家の和樂をはかると共に、日々の食事を經濟的ならしめ一家族に美味な滋養ある食事を供して、十分の活動をなし得る樣に心がけて欲しいのであります。

料理研究の好伴侶

料理研究が家庭の主婦に必要な事は別項板垣伯爵夫人の談話の如くであります。が、偖て料理を研究して見やうとした所で、如何にせば最も早くその目的が達せられるかと云ふ事になると、何人も迷ひになる事と思ひます。東京割烹講習會は、板垣伯爵夫人が、我が國の家庭の主婦に料理を研究せしめんとして設立されたものであります。然しながらお忙しい家庭の婦人方が料理學校に通學する事なども、中々許す可からざるものがありますから、本會は家庭婦人がお宅に居ながら料理研究が出來る樣に、毎月講義錄を發行して料理研究の便宜を開いて居ります。其の講義錄は在來の通信敎授などゝ異なつて、本會には附屬の料理學校があつて、斯道の專門大家が日々季節に合つた料理を實地に敎授したものを載せて、總振假名の平易な文章で、何人にも判り易い樣にしてありますから、此の講義錄を讀めば、日々學校に通つて實地に敎授を受けたと同じ事になります。而して講義錄の內容はあらゆる日本料理、西洋料理、支那料理、和洋菓子の製法、家庭消物法、食品に關する研究事項、野菜の栽培等、料理に關する一切を網羅するのみならず、又附屬禮節研究會の研究になる婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を悉く解說圖を入れて、手を取る樣に敎へたものが載つて居ります。此の益ある講義錄をお取りなさらんとする手續は至極簡便で、ハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直に會員として毎月講義錄を送り、會費は後から毎月其地の郵便局から集めに參りますから何の手數もありません。會費は一ヶ月三十五錢、半ヶ年一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢であります。會員は講義錄の配附を受くるのみならず、質問が自由に出來ます。而して六ヶ月會員となつて居れば修業證書を與へ、一ヶ年會員となつて居れば卒業證書を與へます。目下會員募集中で、此の際入會の方には種々の特典があり、半ヶ年會費前納の方へは『家庭寶典』を呈し、一ヶ年會費全納の方へは『婦女通鑑』及び記念メダルを呈します。尙は內容見本御入用の方へは無料で御送りしますから、遠慮なく

東京本鄕元町一の三 東京割烹講習會

へ申し込んで下さい。本會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五五六九二番であります

東京割烹講習會々長 板垣伯爵夫人

ルーデサック 男用一打 四拾錢 特製六拾錢 女用一個 特製七十五錢 ◎有効淋病梅毒專門藥 ◎保證 淋病梅毒自宅療法 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會

花柳病專門 外科 ◎梅毒 ◎淋病 ◎泌尿生殖器病 ◎睾丸病 ◎肛門病 ◎皮膚病 婦人病 ◎神經衰弱 ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

著しく胃を爽快にする 强胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑査 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五丁目田畑保藥房

百圓進呈 りん病 ばい毒 大阪ドラッグ商會 帝國醫科大學病院等に於て嘗擬配劑せる高評藥たることを保證す若し前述の證言に反する事を發見せる時は分析料として百圓進呈 淋病藥主劑は治淋劑とし梅毒藥主劑は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定す にせ物あり 大阪有田 ◎あらゆる治療を講ずるも効なき患者は一度來談あれ 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會京鮮本部 釜山大廳町三丁目 大阪ドラッグ商會 詳細本月十二日本紙御覧 他の藥店に販賣を不許 京城南大門外停車場通 大阪グッラド商會

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽(天津)牛莊行 和泉丸 九月廿八日 高砂丸 十月九日 三河丸 十月十九日 正午出帆 仁川海岸町 郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 大湖丸 九月二十日 後四時出帆 大有丸 ... 月 日後四時出帆 ▲印大阪直行 仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 ○和歌浦丸 十月八日後五時出帆 ○立神丸 九月廿七日後五時出帆

元山、淸津、浦鹽行 ○和歌浦丸 九月廿六日後十時出帆

元山、西湖、新浦、城津、淸津行 ○立神丸 十月七日後四時出帆 ○第三琴平丸 九月 日後六時出帆

門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆 本社 釜山港埋立新町 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

神戶、大阪行 ◎信濃川丸 九月廿六日後二時出帆 ×漳州丸 九月 日
汕頭行 ◎南浦、神戶、大阪行 汕頭丸 九月二十日後二時出帆
×木浦、釜山、嚴原、長崎行 安東丸 九月廿五日後二時出帆 ×安東丸 十月十一日後二時出帆
○橫濱行 汕頭丸 月 日後二時出帆
×福州丸 月 日
◎南浦行 漳州丸 九月廿三日後二時出帆
×鎭南浦、大連行 安東丸 九月二十日 ×安東丸 十月六日後二時出帆
◎西湖津新浦城津淸津行(元山出帆) 宮島丸 九月二十日後十二時出帆
◎濟津行(元山出帆) 安平丸 九月 日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月十二日後四時出帆 湖北丸 九月廿七日前五時出帆
○外國航路(大連航路を除く)乘船の時は五分引なる以て連絡切符發賣仕候
御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 切符發賣所 內國通運會社京城支店 切符發賣所 仁川驛前 開春館

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船 芝罘、大連行 第廿共同丸 九月十九日後入港 九月廿一日後十時出帆 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

◎門より釜山各地經由雄基行 京畿丸 九月廿三日 ×忠淸丸 九月廿九日 釜山發
○元山より釜山門司行 咸鏡丸 九月三十日 平安丸 九月廿五日
○元山より各地經由雄基行 鐵嶺丸 九月廿一日 咸鏡丸 九月廿四日 平安丸 九月廿二日 元山發
○浦潮行(元山より淸津經由) 平安丸 九月廿一日 元山發
○元山長箭 成鏡丸 九月廿九日 鐵城丸 九月三十日 元山發
○濟州島行 濟州丸 九月廿三日 釜山發
○江陵行 江陵丸 毎日 釜山發
○慶尙行 慶尙丸 九月廿五日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 九月廿三日 釜山發
○麗水行 統營丸 毎日
○木浦麗水間 順天丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由 公州丸 九月廿五日 慶興丸 九月廿七日 木浦發
○多島海各島行 慶興丸 九月廿二日 木浦發
○木浦行 晉州丸 九月廿七日 仁川發
○鎭南浦行 宗信丸 九月廿二日 仁川發
○海州行 全州丸 毎日 仁川發
○江華島行 錦江丸
○靑島行 江原丸 九月廿一日 仁川發
本社 京城南大門通 鐵道院所屬 商船會社 松原運送店

商況 大阪株式特電 合同紡績 鐘淵紡績 東洋紡績 大阪商船 ... 下關期米特電 仁川期米 ▲保合伸惱む ▲收組高增大 [illegible]